

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第31週 > 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-9

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第31週の報告数は229例であり、累
積報告数は1,784例であった



病原体情報
P.10-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / 無菌性
髄膜炎患者から検出されているウイルス 2008年 / 手足口病患者
から検出されているエンテロウイルス 2008年



速報
P.14-19

パラチフス 2007年 / 第2期麻しん風しん予防接種の接種率向上
に向けて - 新潟市



海外感染症情報
P.20

コートジボワールにおける黄熱流行



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(31週)
P.22-27



31週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第31週コメント > 8月6日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核331例

3類感染症

細菌性赤痢5例 感染地域: 埼玉県1例、山梨県1例、福岡県1例、鹿児島県1例、タイ1例

腸管出血性大腸菌感染症229例(有症者173例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内229例

国内の多い感染地域: 鹿児島県18例¹⁾、岩手県14例²⁾、兵庫県14例³⁾、愛知県10例、大阪府9例⁴⁾、広島県9例、福岡県9例、京都府8例

¹⁾うち8例は保育園に関連した集団発生、

²⁾うち7例は小学校の行事に関連した集団発生、

³⁾うち6例は飲食店における集団発生、

⁴⁾うち4例は保育園に関連した集団発生

年齢群: 1歳(14例)、2歳(16例)、3歳(14例)、4歳(9例)、5歳(11例)、6歳(8例)、7歳(8例)、8歳(11例)、9歳(6例)、10代(33例)、20代(38例)、30代(26例)、40代(10例)、50代(12例)、60代(7例)、70代(5例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(103例)、O157 VT2(56例)、O26 VT1(33例)、O111 VT1(5例)、O157 VT1(5例)、O121 VT2(3例)、O103 VT1(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O128 VT1・VT2(1例)、その他・不明(20例)

累積報告数: 1,784例(有症者1,227例、うちHUS 27例、死亡1例)

4類感染症

A型肝炎2例 感染地域: 大阪府1例、国内(都道府県不明)1例

日本紅斑熱2例(うち死亡1例)

感染地域: 島根県1例、宮崎県1例

マラリア1例 三日熱_感染地域: インド

レジオネラ症13例(肺炎型12例、無症状病原体保有者1例、うち死亡2例)

感染地域: 東京都3例、宮城県2例、神奈川県2例、山形県1例、埼玉県1例、愛知県1例、大阪府1例、高知県1例(温泉)、秋田県(温泉)宮城県1例

年齢群: 30代(1例)、40代(1例)、50代(2例)、60代(4例)、70代(3例)、80代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症13例)

感染地域:大阪府2例、北海道1例、栃木県1例、愛知県1例、岡山県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)4例、東京都/韓国1例、韓国1例

感染経路:経口感染1例、性的接触5例(異性間2例、異性間・同性間不明3例)、経口感染/性的接触(異性間)1例、不明6例

ウイルス性肝炎3例 B型肝炎3例(うち死亡1例) 感染経路:性的接触1例(異性間)不明2例

急性脳炎1例 麻疹ウイルス 年齢群:10代

クリプトスポリジウム症1例 感染地域:福島県

クロイツフェルトヤコブ病2例 孤発性プリオン病古典型1例、遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例

後天性免疫不全症候群15例(AIDS 2例、無症候12例、その他1例)

感染地域:国内14例、国内・国外不明1例

感染経路:性的接触15例(異性間6例、同性間9例)

ジアルジア症2例 感染地域:千葉県1例、京都府1例

梅毒10例(早期顕症I期2例、早期顕症II期4例、無症候4例)

破傷風4例 年齢群:40代(1例)、50代(1例)、60代(2例)

風しん4例(臨床診断例4例)

感染地域:島根県3例、国内(都道府県不明)1例

年齢群:1歳(3例)、2歳(1例)

麻疹50例[麻疹(検査診断例14例、臨床診断例31例)、修飾麻疹(検査診断例5例)]

感染地域:国内50例

国内の多い感染地域:神奈川県8例、東京都6例、愛媛県6例、千葉県4例、山梨県3例、兵庫県3例

年齢群:0歳(3例)、1歳(4例)、2歳(1例)、3歳(1例)、4歳(1例)、5～9歳(5例)、10～14歳(8例)、15～19歳(13例)、20～24歳(4例)、25～29歳(5例)、30～34歳(3例)、35～39歳(1例)、50代(1例)

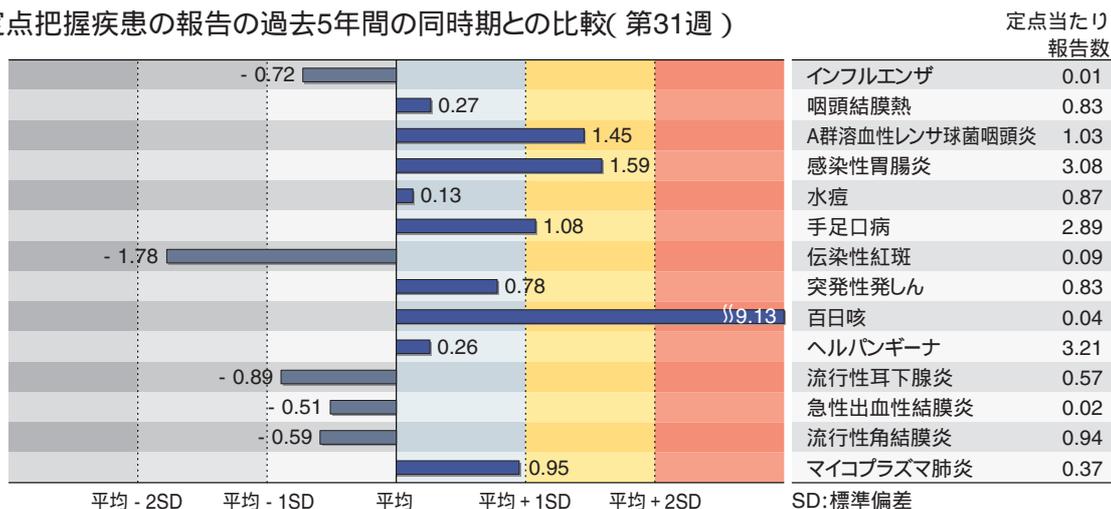
累積報告数:10,521例[麻疹(検査診断例3,003例、臨床診断例6,600例)、修飾麻疹(検査診断例918例)]

(補)他に2008年第30週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域:静岡県)、エキノコックス症1例(多包条虫 感染地域:北海道)、デング熱1例(デング出血熱 感染地域:タイ)、レジオネラ症1例(感染地域:茨城県(温泉))、レプトスピラ症2例(感染地域:沖縄県2例 感染原因:水田1例、不明1例)、急性脳炎3例(麻疹ウイルス1例(20代)、病原体不明2例(1歳、9歳))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型:不明 菌検出検体:尿)、風しん2例(臨床診断例2例 感染地域:茨城県1例、神奈川県1例 年齢群:15～19歳(1例)、20～24歳(1例))などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第31週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(0.78)、広島県(0.07)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は313例の報告があり、報告数は第28週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では鹿児島県(2.18)、佐賀県(1.91)、新潟県(1.83)、愛媛県(1.76)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では埼玉県(1.97)、大分県(1.78)、鳥取県(1.74)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(6.9)、福井県(5.3)、宮崎県(4.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は25週以降減少が続いている。都道府県別では山形県(2.03)、青森県(1.62)、千葉県(1.36)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では石川県(9.4)、三重県(8.2)、富山県(7.2)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(0.32)、新潟県(0.30)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山梨県(0.29)、千葉県(0.13)、沖縄県(0.12)が多い。

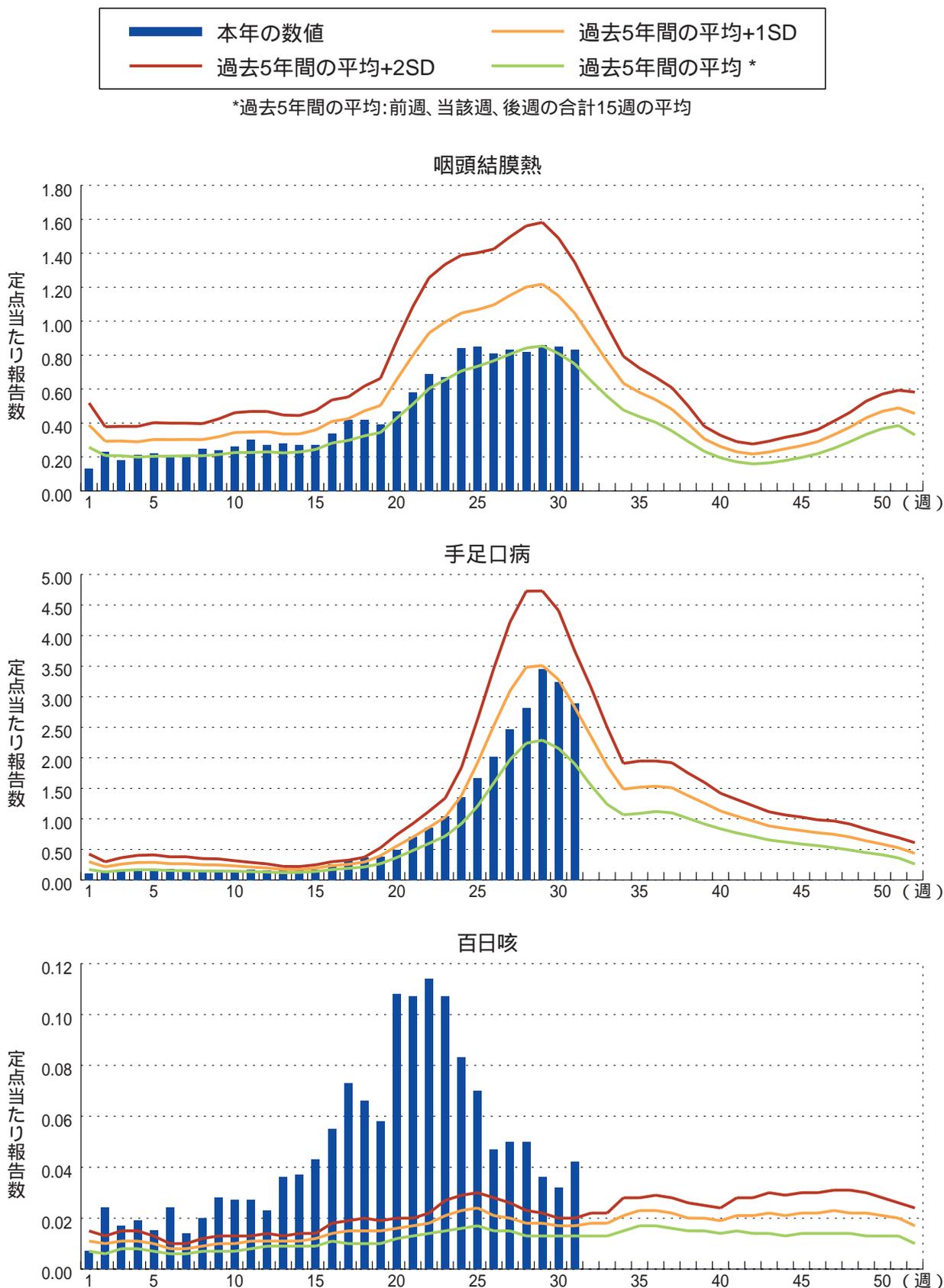
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では長野県(9.3)、宮城県(6.5)、山形県(6.3)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では佐賀県(3.1)、宮崎県(2.5)、高知県(1.9)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(3.7)、青森県(1.7)、福島県(1.6)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1～31週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症 (2008年8月7日現在)

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第11(～13)週にオーストラリアへ修学旅行に行った高校生がO26 VT1に感染した計76例の報告が佐賀県からあり、一時的に増加した。その後は、第18週から徐々に増加し始め、第24週に1週間当たりの報告数が100例を超えた。第24～30週はほぼ100～150例で推移していたが、第31週は大きく増加し229例であった。第31週までの累積報告数1,784例は、2000年以降では3番目に多い(2000年1,562例、2001年2,406例、2002年1,752例、2003年1,224例、2004年1,755例、2005年1,715例、2006年1,737例、2007年1,986例)(図1)。

第31週(7月28日～8月3日診断のもの)の報告229例は、患者(有症状者)が173例(75.5%)で、無症状病原体保有者56例(24.5%)であった。36都道府県から報告があり、都道府県別では、鹿児島県(18例)、兵庫県(17例)、岩手県(14例)、広島県(12例)、愛知県(11例)、福岡県(10例)が多かった。感染地域はすべて国内で、都道府県別では、鹿児島県(18例)、岩手県(14例)、兵庫県(14例)、愛知県(10例)、大阪府(9例)、広島県(9例)、福岡県(9例)が多かった。鹿児島県では保育園、岩手県では小学校の行事、兵庫県では飲食店、大阪府では保育園に関連した集団発生があった。性別では男性121例、女性108例で、年齢群別では0～9歳97例、20～29歳38例、10～19歳33例の順に多かった。

第1～31週(2007年12月31日～2008年8月3日診断のもの)の累積報告1,784例は、患者が1,227例(69%)、無症状病原体保有者が557例(31%)であった。報告はすべての都道府県からあり、報告の多い都道府県は、東京都(117例)、大阪府(99例)、福岡県(96例)、神奈川県(85例)、佐賀県(85例)、京都府(84例)であった(図2)。感染地域は国内が1,688例、国外が91例、国内か国外か不明が5例であり、国内の感染地としての都道府県別では、大阪府(99例)、東京都(89例)、京都府(85例)、福岡県(85例)の順で多かった。性別では男性829例、女性955例であり、年齢群別では0～9歳556例(うち患者79%)、10～19歳330例(同78%)、20～29歳282例(同76%)、30～39歳207例(同47%)、40～49歳105例(同47%)、50～59歳133例(同46%)、60～69歳78例(同54%)、70～79歳51例(同73%)、80～89歳36例(同72%)、90～99歳6例(同67%)であった。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年14週～2008年第31週)

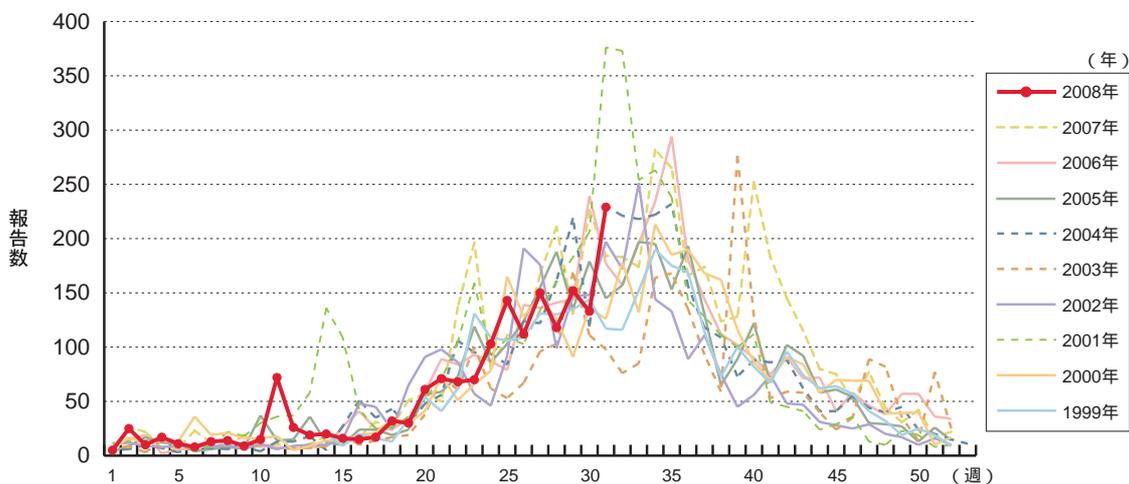
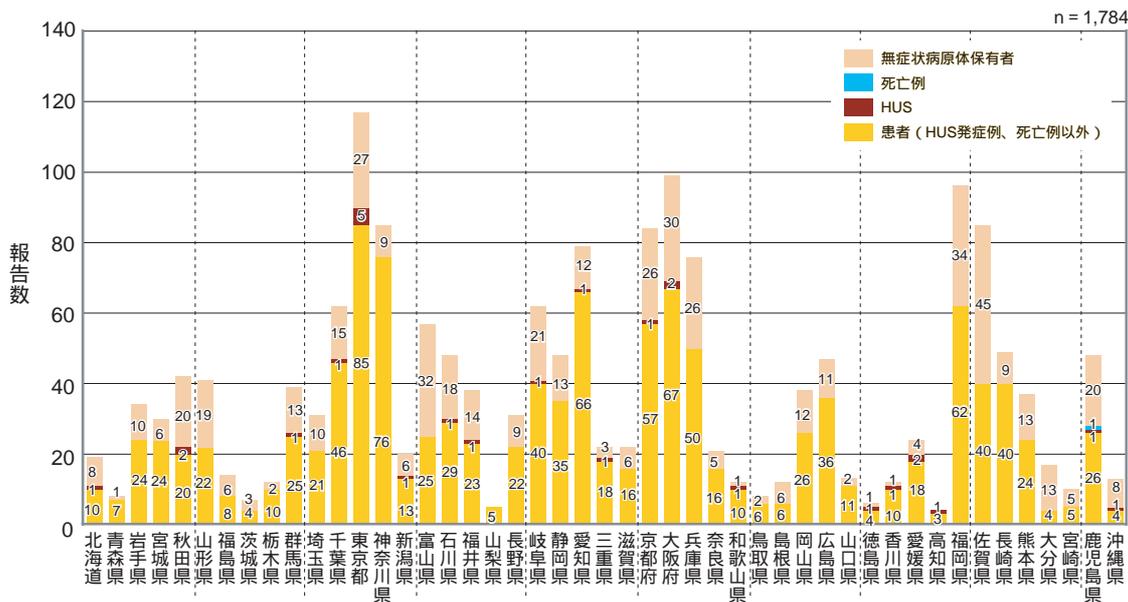


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況(2008年第1～31週)



溶血性尿毒症症候群 (HUS) は、前週の集計 (7月30日)以降に新たに3例が報告され、第31週までに27例報告となった。27例のうち10例は、菌は分離されなかったが、血清抗体の検出によって届け出られたものである。都道府県別では、20都道府県 (東京都5例、秋田県2例、大阪府2例、愛媛県2例、北海道、群馬県、千葉県、新潟県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、和歌山県、徳島県、香川県、高知県、鹿児島県、沖縄県各1例) から報告があった。年齢は0～4歳が12例、5～9歳が7例、10代が7例、50代が1例となっており、27例中24例が15歳未満の小児であった。27例中8例は生肉・生レバー、1例は生せんまい (牛の胃)、1例はステーキが感染源とされていた (表1、表2)。

また、第27週には、基礎疾患に腎臓病を持った60代女性患者 (O157 VT2) の死亡例が報告されている。

表1. 腸管出血性大腸菌感染症の溶血性尿毒症症候群 (HUS) の年齢群別報告数 (2008年第1～31週)

	総届出数	患者	HUS	HUS/患者
0～4歳	330	256	12	4.69%
5～9歳	226	184	7	3.80%
10～14歳	141	121	5	4.13%
15歳以上	1,087	666	3	0.45%
総計	1,784	1,227	27	2.20%

表2. 溶血性尿毒症症候群(HUS)届出症例(n = 27)(2008年第1～31週)

	診断週	報告都道府県	年齢	O血清群	VT型	推定される感染源**
1	第2週	大阪府	2	157	VT1・VT2	不明
2	第2週	大阪府	2	157	VT1・VT2	肉のたたき
3	第4週	京都府	4	157	VT2	不明
4	第8週	北海道	4	157	VT2	不明
5	第16週	愛媛県	7	157*		生レバー
6	第18週	愛媛県	10代	157*		牛生レバー
7	第18週	新潟県	3	157	VT1・VT2	不明
8	第21週	和歌山県	2	157	VT1・VT2	不明
9	第24週	沖縄県	1	157	VT2	不明
10	第25週	群馬県	10代	157	VT1・VT2	ユッケ
11	第26週	秋田県	10代	157	VT1・VT2	宅配弁当
12	第26週	秋田県	10代	157*		宅配弁当
13	第26週	東京都	3	157	VT1・VT2	不明
14	第26週	東京都	10代	157	VT2	不明
15	第27週	東京都	10代	157*		生肉
16	第27週	三重県	9	157	VT1・VT2	不明
17	第27週	徳島県	3	157*		不明
18	第27週	鹿児島県	50代	157	VT2	生レバー
19	第28週	東京都	7	157	VT2	生レバー
20	第28週	石川県	2	157		不明
21	第28週	高知県	6	157	VT2	不明
22	第29週	東京都	10代	157*		不明
23	第29週	香川県	6	157*		生せんまい
24	第30週	千葉県	9	157*		ステーキ
25	第30週	福井県	6	157	VT1・VT2	不明
26	第31週	岐阜県	3	157*		生レバー
27	第31週	愛知県	3	157*		不明

* 血清抗体（O抗原凝集抗体）の検出による

** 感染源は推定または確定として届け出されたものを記載

腸管出血性大腸菌感染症は、わが国において、毎年約3,000～4,500例の報告が続いている疾患である。本年は、2000年以降の過去8年間の同時期までの発生数との比較では、3番目に多い報告数となっている。重症の合併症であるHUSは27例の報告があり、基礎疾患の悪化による死亡例も1例報告されている。

例年の状況からは、発生のピークの時期を迎えつつあると考えられる。患者・感染者を増やさないう、HUS症例や死亡者を出さないよう、予防対策の徹底が必要である。食品の取り扱い等の一般的な食中毒対策に加え、特に、小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控えることが肝要である。また、患者・無症状病原体保有者から周囲の人々への感染が起こりやすい疾患なので、手洗いの励行等の二次感染予防対策の一層の徹底が重要である。

(補)腸管出血性大腸菌感染症については、

週報IDWR

- ・ 感染症の話: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_06/k02_06.html
- ・ 注目すべき感染症
第25号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-25.pdf>
第27号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-27.pdf>
第29号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-29.pdf>
第30号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-30.pdf>
- ・ 速報「修学旅行先において腸管出血性大腸菌(EHEC) O26に感染したと思われる事例 - 佐賀県」: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-20.pdf>
- ・ 速報「焼肉店が原因施設とされた腸管出血性大腸菌O157:H7食中毒事例 - 福井県」: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-21.pdf>

月報IASR

- ・ <特集>: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/tpc339-j.html>
- 菌の検出状況: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>

などもご参照ください。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

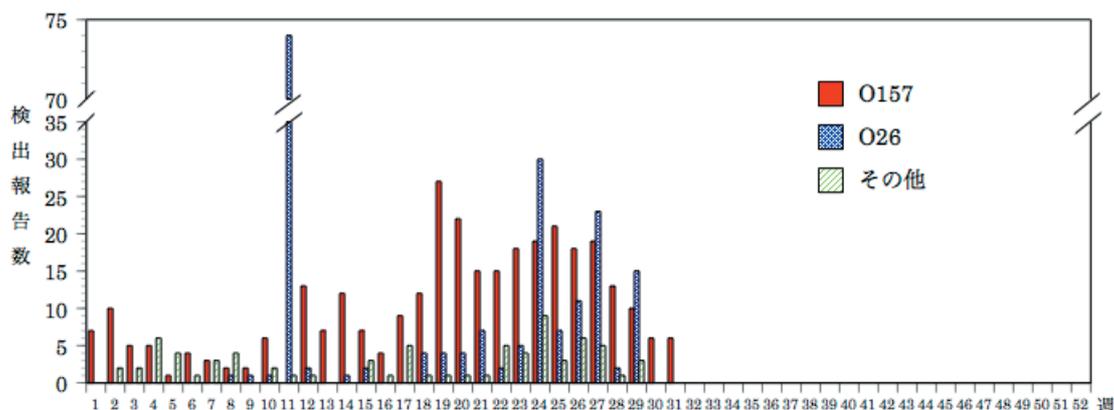
(2008年8月7日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は590件で、O157が318件、O26が197件、その他の血清型が75件報告されている。O157は大阪府31件、岐阜県28件、福岡県21件、東京都18件、奈良県17件、富山県16件、愛媛県15件、群馬県、静岡県各13件、石川県、広島県各11件、長野県、三重県、滋賀県各10件、大分県9件、山形県、佐賀県各8件、福島県、山口県各7件、宮城県、新潟県各6件など34都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、富山県36件、神奈川県26件、静岡県7件、宮城県、群馬県、新潟県各6件など20都県から、その他の血清型は福岡県17件、群馬県、石川県各8件、山形県7件、東京都6件など21都道府県から報告されている。

直近の4週間に発生した集団事例では、第26～29週に富山県で保育園児と家族からO26が33件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報: 2008年8月7日現在報告数)

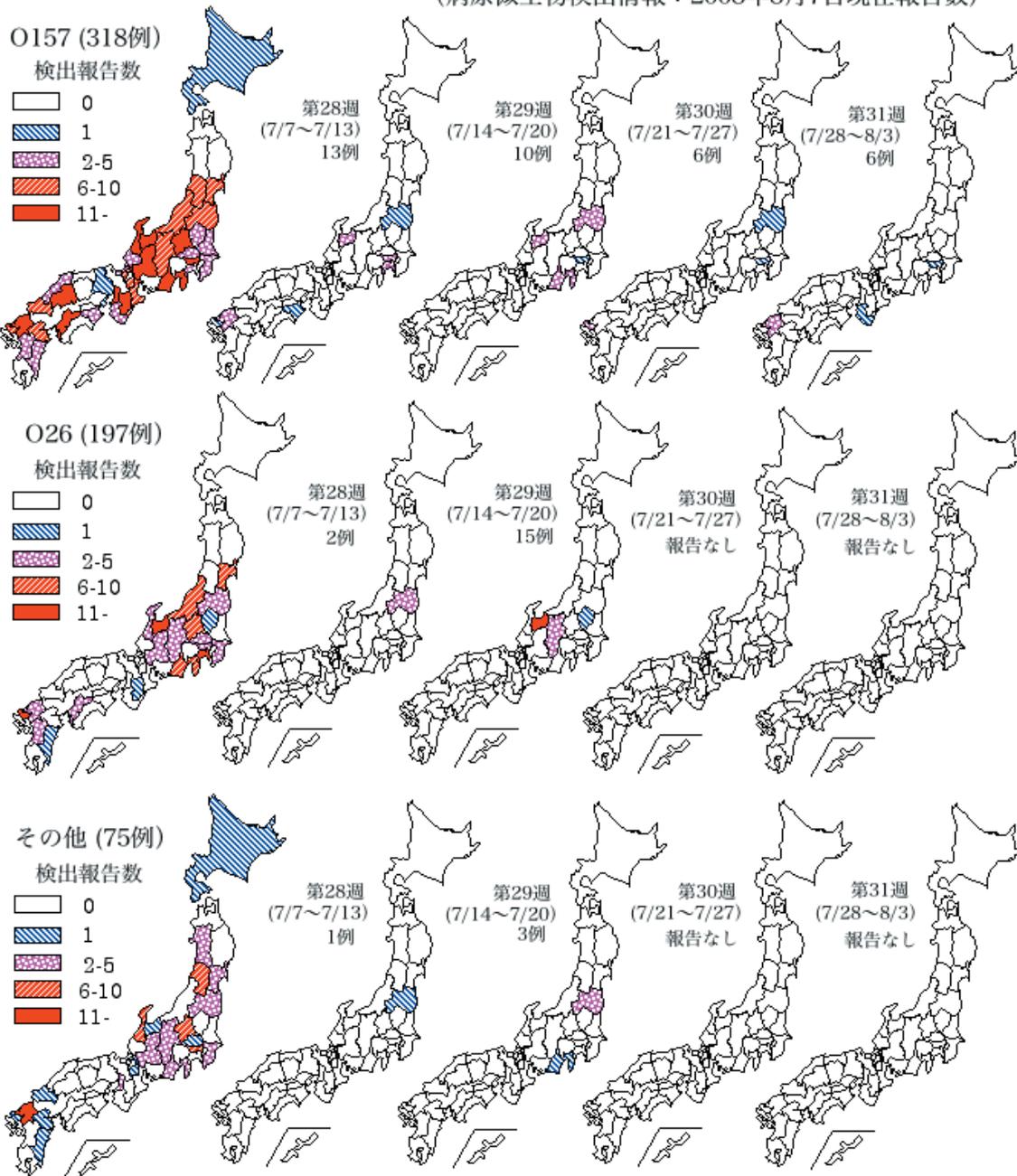


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年8月7日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

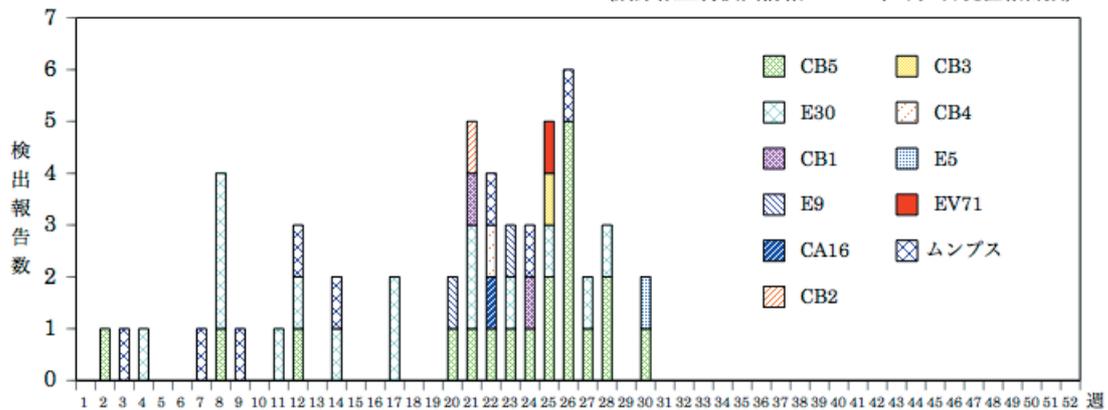


無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2008年

第20週以降、B群コクサッキーウイルス(CB)5型の検出が続いており、大阪府6件、福岡県5件、愛媛県3件、京都府、岡山県、高知県、大分県、宮崎県各1件、計19件が報告されている。その他のエンテロウイルスでは、エコーウイルス(E)30型が千葉県、福井県各3件、奈良県、鳥取県、福岡県各2件、石川県、愛知県、大阪府各1件、計15件、CB1(愛知県)、E9(大阪府)が各2件、CA16(石川県)、CB2(大阪府)、CB3(島根県)、CB4(兵庫県)、E5(大阪府)、E18(島根県)、E24(福岡県)、エンテロウイルス71型(EV71)(大阪府)、ポリオ2型(京都府)、ポリオ3型(福岡県)が各1件報告されている。ムンプスウイルスは埼玉県2件、秋田県、千葉県、愛知県、京都府、大阪府、高知県各1件、計8件報告されている。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年8月7日現在報告数)



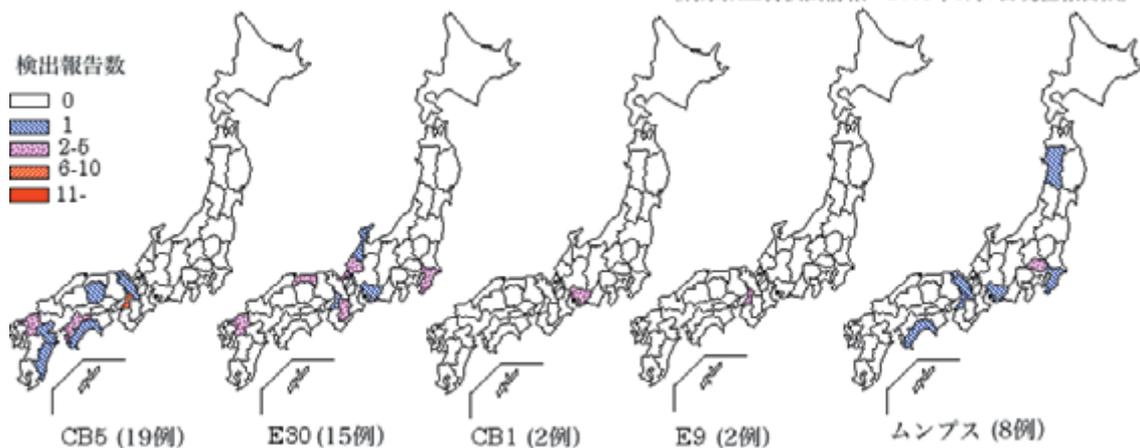
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年8月7日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2008年

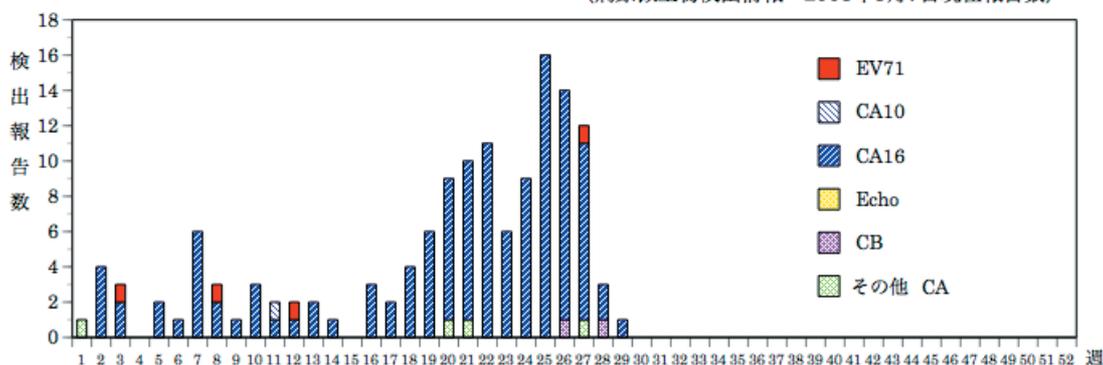
2007年に引き続き、2008年もコクサッキーウイルス(CA)16型の検出が増加しており、富山県20県、鳥取県19件、高知県13件、長野県、愛知県各11件、三重県9件、宮崎県7件、大阪府6件など20府県から計126件が報告されている。

一方、エンテロウイルス71型(EV71)は三重県2件、滋賀県、大阪府各1件、計4件の検出が報告されている。

その他のCAではCA4が滋賀県、高知県各1件、CA6が山形県、千葉県各1件、CA10が長野県1件の検出が報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年8月7日現在報告数)



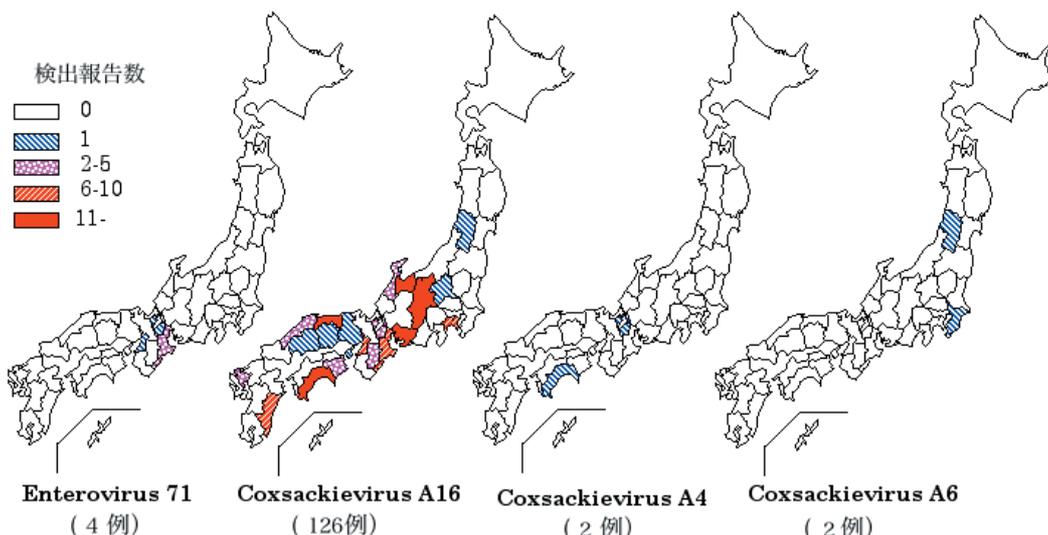
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別手足口病患者からの主なエンテロウイルス分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年8月7日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



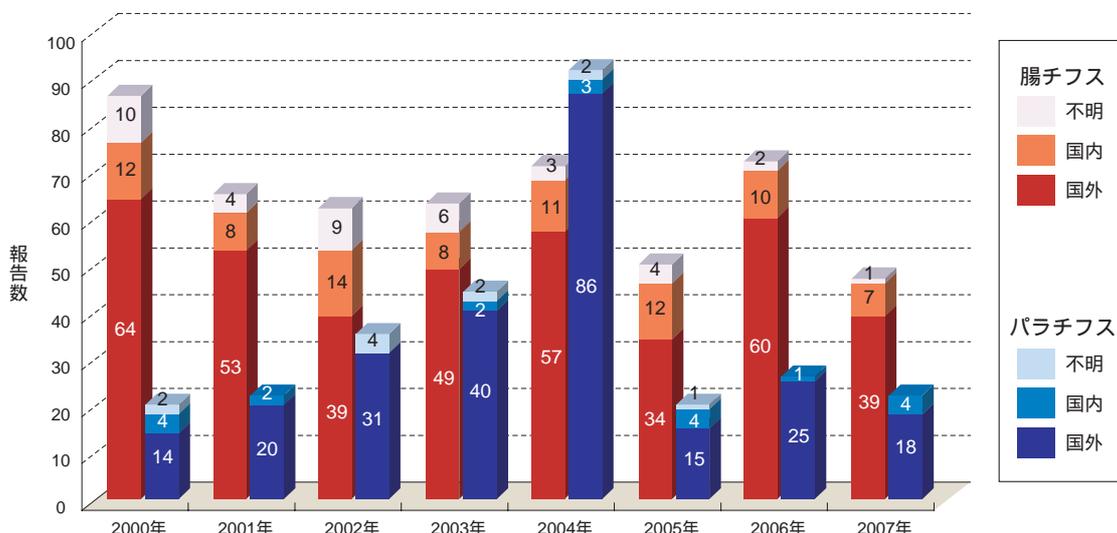
パラチフス 2007年(2008年5月17日現在)

パラチフスはパラチフスA菌(*Salmonella Paratyphi A*)の感染によって起こる全身性疾患である。パラチフスA菌の感染はヒトに限って起こるので、患者及び無症状病原体保有者の糞便と尿、およびそれらに汚染された食品、水、手指が感染源となる。通常1～3週間の潜伏期の後、39～40の発熱が出現する。主要症状は高熱の持続で、他に特記すべき症状はないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が多くならない)、バラ疹、脾腫が3大徴候とされているが、出現率は30～50%台とされる。下痢は半数程度でみられ、便秘もみられることがある。合併症として腸出血、腸穿孔があるが、ニューキノロン系薬が使用されるようになってからは稀である。適切な治療がなされないと、再燃・再発や慢性保菌者になることもある。このように、症状はチフス菌(*Salmonella Typhi*)による腸チフスとほとんど同様であり、従来腸チフスに比べて軽症であると言われてきたが、同程度とする報告もある。最近、チフス菌、パラチフスA菌ともに、ニューキノロン系薬低感受性菌の増加が問題になっているので、治療の際には注意が必要である(病原微生物検出情報 IASR vol.26 No.4 p89-90, 2005 参照 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/26/302/dj3021.html>)

パラチフスは、1999年4月1日施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、2007年4月施行の法改正により3類感染症に変更され、現在は患者(有症状者)及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、発見された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健康診断などにおいて発見されている。

2007年の報告数(診断週が2007年第1～52週で、2008年5月17日までに報告されたもの)は22例であった。感染症法施行以降の過去の報告数は、1999年(4月～)30例、2000年20例、2001年22例、2002年35例、2003年44例、2004年91例、2005年20例、2006年26例であり、2001年以降増加傾向が認められ、2004年の報告数は腸チフスを超える報告数となったが、2005年には著減して、その後は20例台の報告数となっている(図1)。

図1. 腸チフス・パラチフスの年別・感染地域別報告数(2000～2007年)
(2000～2007年3月の疑似症患者を含む)



2007年に報告された22例はすべて患者であり、疑似症患者、無症状病原体保有者の報告はなかった。性別では男性13例、女性9例で、年齢中央値35.5歳(22～85歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内4例、国外18例であった。死亡例の報告はなかった。

22例の症状は、届出様式に症状として挙げられているものでは、高熱21例、下痢13例、脾腫4例、比較的徐脈3例であった。また、その他の症状として、肝機能異常2例、播種性血管内凝固症候群、頭痛、腹痛、嘔吐、倦怠感、カタル症状各1例の記載があった。病原診断は細菌培養により行われているが、その検体の種類は、血液17例、便3例、尿1例、胆汁1例であった。

国内を感染地域とする4例は、男性1例(50代)、女性3例(60代1例、80代2例)であった(図2)、発病月は、1月、6月、9月、12月であった(図3)。いずれも感染原因・経路は不明であった。

図2. パラチフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2007年) n = 22

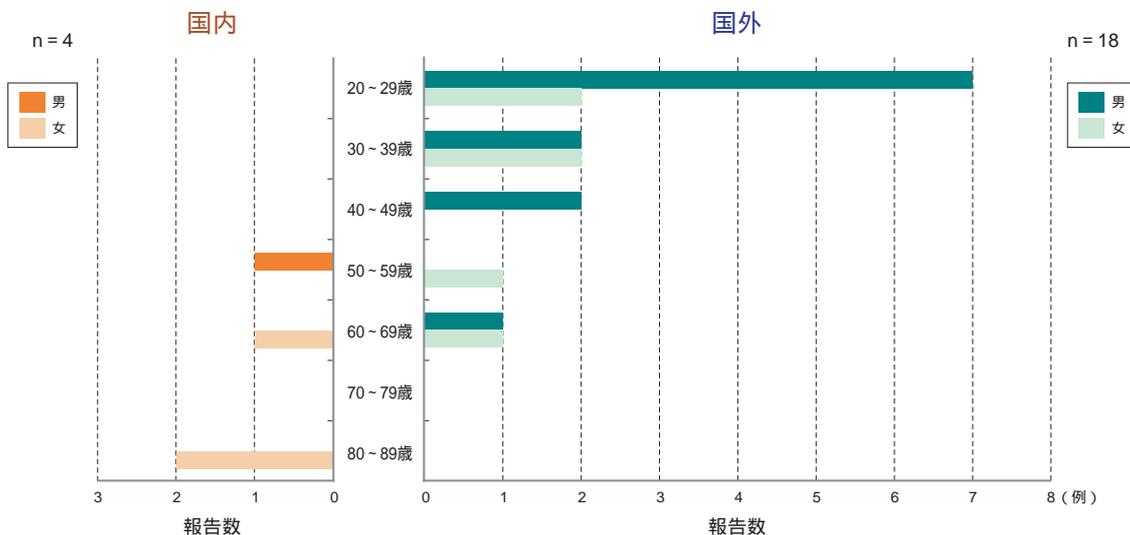
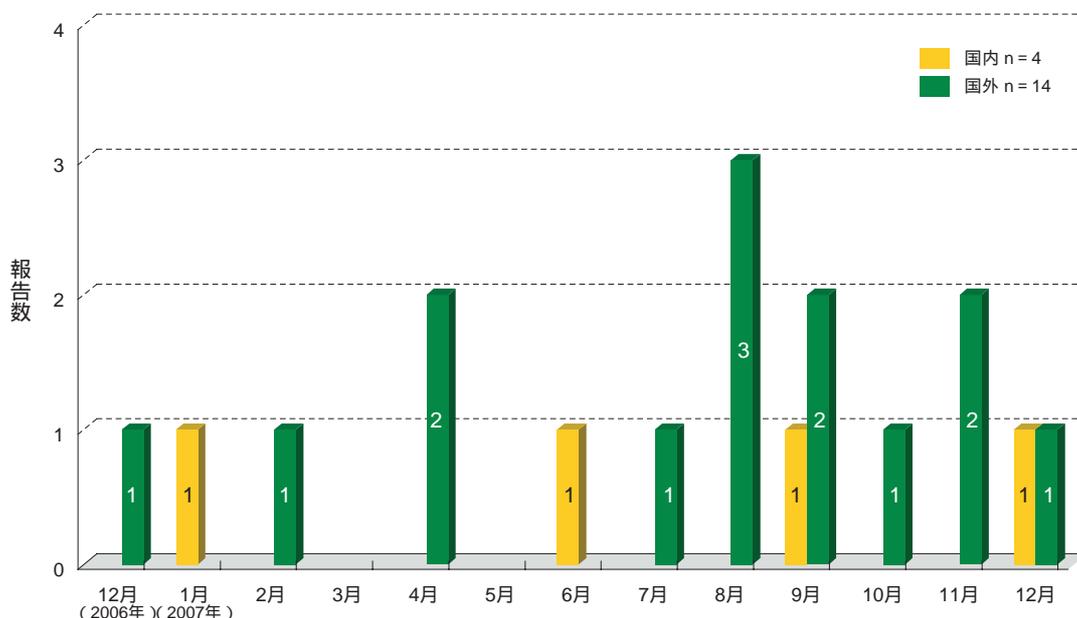


図3. パラチフスの感染地域別・発症月別報告数(2007年)

n = 18(発症月不明の4例を除く)

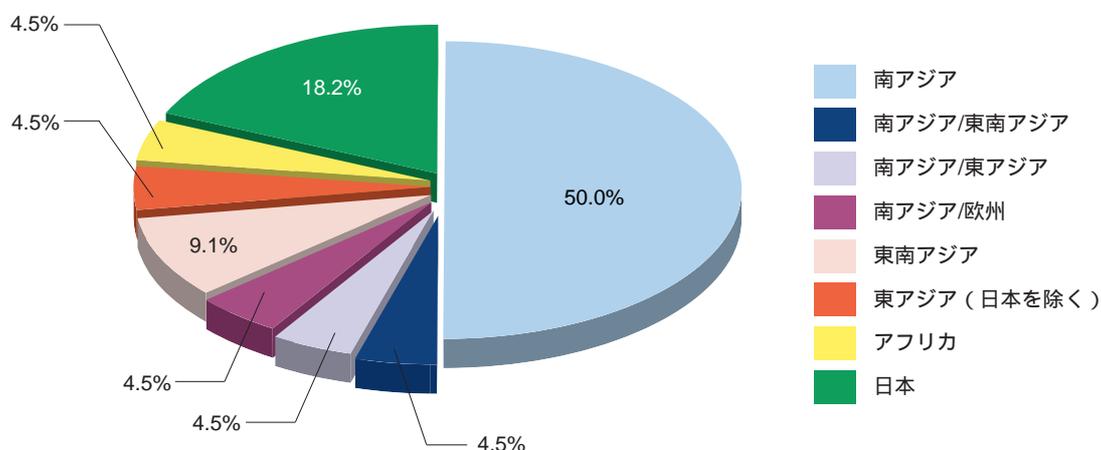


国外を感染地域とする18例は、男性12例、女性6例で、年齢群別にみると、20代9例、30代4例、40代2例、50代1例、60代2例(年齢中央値30歳)で、特に20代男性が多かった(図2)。発症月の記載のあった14例の発症月をみると、8月の3例が最多で、明らかな好発月や季節はみられなかった(図3)。感染地域(国)別にみると、南アジア11例(インド7例、ネパール2例、バングラデシュ2例)、南アジア/東南アジア1例(スリランカ/タイ)、南アジア/東アジア1例(インド/香港)、南アジア/欧州1例(インド/スペイン)、東南アジア2例(シンガポール1例、インドネシア/タイ1例)、東アジア1例(中国)、アフリカ1例(セネガル)であった。アジアがほとんどであり、特に南アジアが多い状況は従来どおりであった(図4)。

流行地へ渡航する場合には、生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、手洗いの励行が重要であり、さらに、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

図4. パラチフスの感染地域割合(2007年)

n = 22



麻しん風しん第2期接種率向上の取り組み事例 - 6

第2期麻しん風しん予防接種の接種率向上に向けて

新潟市保健所保健管理課健康危機管理室

< はじめに >

平成18年度、新潟市の第2期MRの接種率は87.2%であり、目標の95%には及ばなかったが、その後多方面からの取り組みを行った結果、平成19年度に目標の95%を達成できたので報告する。

< 新潟市における取り組みの背景 >

(1) 小・中・高校で麻しんの集団発生と成人の死亡例

平成15年12月下旬よりの集団発生を契機に麻しんの普及啓発ポスターの掲示に加え、教育委員会と連携して麻しん予防接種未接種児童・生徒の予防接種勧奨に努めた。一方、小児科定点医療機関からの麻しん報告では、平成16年に入り第3週目に1件報告があり、第9週の7件がピークで、第21週以降報告はみられなかった。しかし、第20週に麻しん罹患後に急性脳炎で死亡した女性(第16週に診断されたもの)の届け出があった。このケースは、予防接種歴のある子どもの母親で、本人に予防接種歴が無かったことから、子どもの感冒のために通院していた小児科で感染した可能性が示唆された。

(2) 麻しん全数把握事業の開始

この症例を受け、新潟市では平成18年5月より医師会と保健所が連携し、全国の自治体に先がけて麻しんの全数把握事業を開始した。保健所は医療機関から報告を受けると疫学調査、まん延対策の実施に加え、市と医師会のホームページ上に情報を掲載し、医療機関をはじめ公立、私立の保育園・幼稚園、教育委員会、地域保健福祉センターなどの関係機関に情報をフィードバックして情報の共有化をすすめた。

(3) 平成18年度：第2期MR予防接種率95%達成できず

平成18年4月の予防接種法改正後、6月に再度改正され、実質的に接種対象者が変更されるなどの混乱の中、関係機関をはじめ保護者への情報提供や予防接種の勧奨に最善を尽くした。市の接種勧奨、PR対策として市の公報、ホームページ、新聞への掲載をはじめ予防接種勧奨スケジュールにより、保育園・幼稚園、小学校、医療機関など関係機関を通じて保護者への接種勧奨に努め、平成18年度の最終接種率は政令市で3位の87.2%まで向上したが、目標の95%には達しなかった。

(4) 麻しんによる急性脳炎の届け出

全国的に成人麻しんが流行した平成19年に、麻しんによる急性脳炎の届出が2例あり、1例は命は取り留めたものの後遺症が残り復学が困難の状態に至った。この2例とも麻しん予防接種歴は無かった。

< 予防接種率95%の目標達成に向けて >

予防接種は本来行政が保護者に一方的に接種を勧奨するのではなく、保護者の責任において接種されるべきものである。この原則に立ち行政は、医療機関、教育委員会、福祉関係機関等と連携し、あらゆる機会を利用し多方面から継続的に保護者に働きかけてきた。

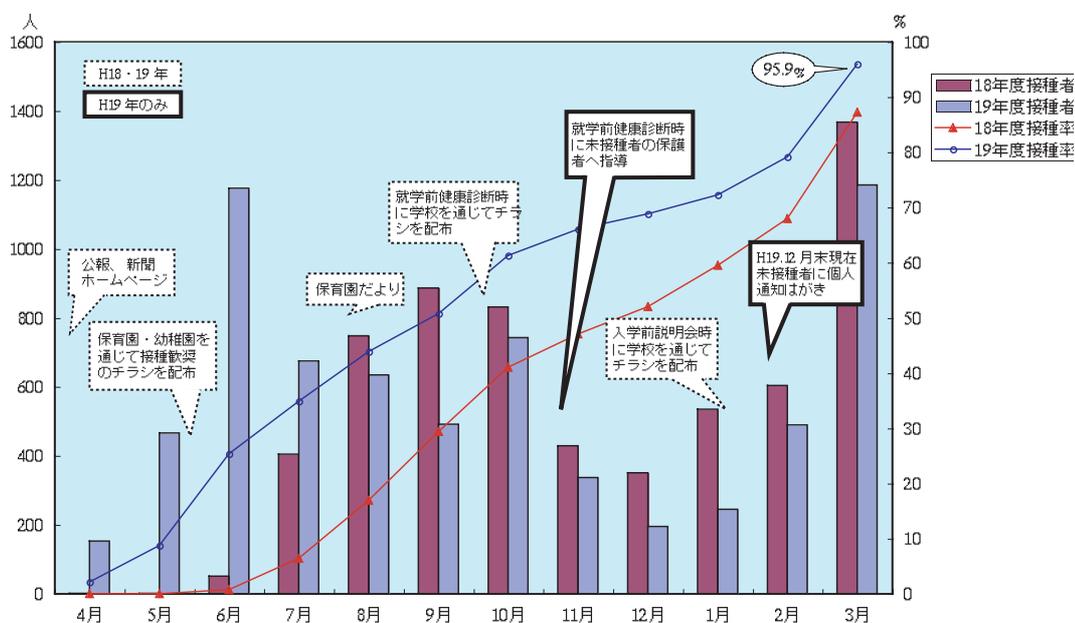
平成19年度、第2期MR予防接種対象者は7,072人であり、毎月の接種者数が550人～600人を目標に、「麻しんによる急性脳炎を出さない」をスローガンに、接種勧奨として従来どおり、市の公

報、ホームページ、新聞などに掲載した。また、予防接種勧奨スケジュールに沿って保育園・学校経由でチラシを配布、更に平成19年度より新たにMR予防接種未接種者の保護者への意識づけの目的で、就学前健康診断票に「勧奨に必要な予防接種」の欄を設け、これまでの取り組みを強化し接種勧奨に努めた。

接種状況については、1回目の接種勧奨用のチラシ配布は保育園・幼稚園経由で行い、配布月には、1,175人と期待以上に接種数は伸びた。2回目のチラシ配布は小学校経由での就学前健康診断手続き時に保護者へ配布、また就学前健康診断票の改正を踏まえ就学前健康診断後の接種数の伸びを期待していたが、11月の接種者数は337人と十分な接種数の伸びが得られなかった。

そこで未接種者への個別通知を検討し、平成20年2月に前年の12月末現在の第2期MR予防接種未接種者へ保健所システム(予防接種台帳として住民基本台帳と連動しており未接種者が容易に把握可能)により抽出し個別通知を行い、同時に小学校就学前学校説明会でもチラシの配布を行った。その結果、接種者数は2月: 489人、3月: 1,185人と伸び、平成19年度の接種者数は6,785人、接種率95.9%と当初の目標であった接種率95%を達成できた。

第2期MR接種状況



< 達成に至った主な要因 >

(1) 経時的な接種数の把握と未接種者への保健所システムに基づいた個別接種勧奨

前述のように接種勧奨だけでは十分な接種数の伸びが得られなかったため、保健所情報システム(平成15年度より開始)により第2期MR予防接種未接種者へ個別通知を行う対策を講じた。

(2) 継続的かつ多方面からの接種勧奨

予防接種勧奨スケジュールに沿って、年に3回(5月、10月、翌年2月) 保育園・幼稚園、小学校を經由して保護者への接種勧奨のためのチラシを配布し、保育園・幼稚園関係者に予防接種について関心を持つ機会を多数提供した。

保育園所管課では園長会議等でMR予防接種の情報提供を行い、園独自でMR予防接種をテーマにした「園だより」を保護者に配布する取り組みを支援した。

(3) 関係機関の連携強化

新潟市では医師会、児童福祉関係課、教育委員会、保健所の組織で構成する「新潟市小児保健連絡会議」を平成4年5月に設立し、乳幼児・児童・生徒の健診、予防接種、などを議題として、年に1～2回、意見交換や調整を行ってきた。その中で、H19年度より就学時健診票に「勧奨の必要な予防接種」の欄を新たに設け、健康診断終了後の結果説明時に精密検査の必要な児童と同様の扱いとする予防接種未接種者対策を導入した。このようなシステムにおいて、小学校の担当者及び学校医よりワクチン接種の勧奨が可能となった。

< 最後に >

第2期MR予防接種率95%の目標の達成は、未接種者への個別通知による接種勧奨の成果は大きいですが、これまで述べたような複合的かつ継続的な取り組みにより達成できたと思われる。今後は、インフルエンザ等他の予防接種によるMRワクチン接種行動への影響や、麻しんが早春に流行すること等も視野に入れながら、接種勧奨のあり方について再検討し、より早期に95%を達成したい。

また第2期MRの95%以上の接種率の維持のみならず、H20年度からのMR第3期・第4期の経過措置については特に教育委員会と協力し情報の共有を図りながら、「麻しん排除」を目指し予防接種率の向上とまん延防止対策に努めていきたいと考えている。

(補)

- ・「予防接種勧奨スケジュール」は、2008年度版を

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/sokuhoumeas/0831t.pdf> でご覧いただけます。

- ・平成16年の麻しん罹患後に急性脳炎で死亡した症例については、週報IDWR2004年第23号「速報」(<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2004-23.pdf>)に掲載されています。



海外感染症情報

コートジボワールにおける黄熱流行

WHO/EPR 2008年8月8日

2008年8月8日、コートジボワールの保健省は首都アビジャン(Abidjan)(訳注: 正式にはヤムスクロだが、実質的な首都はアビジャンとされている)での黄熱の流行を宣言した。この流行は、2008年5月初めに検査診断により確定されたものである。

2008年6月、WHOはGOARN(the Global Outbreak Alert and Response Network)の2名の専門家を派遣。疫学的調査と昆虫学的調査を行い、都市型黄熱の流行規模を評価した。

臨床的、疫学的、検査診断的な調査の結果、GOARNのチームは首都アビジャンの異なる地域からそれぞれ報告された、2例の黄熱症例を確認した。1例はCocody在住の48歳の女性で、1997年に黄熱ワクチンの接種歴があった。もう1例はTreichvilleの郊外在住20歳男性であり、黄熱ワクチンの接種歴はなかった。

GOARNチームは、調査後、以下の結論に至った。1)現在のところの疫学的状況は、特定の流行地や継続的な発生のない、一時的な患者の集積である、2)2001年に集団接種キャンペーンが実施されたが、接種率は60%前後である、3)黄熱ウイルスを媒介する蚊が、アビジャンに存在している、4)昆虫学的リスクの指標(Breteau index とContainer index)は、調査された全ての地域で、黄熱感染に対して高リスクである、という結果だった。

これらの結論から、当チームは黄熱のサーベイランスの強化と蚊に対する対策の実地を勧告した。

GOARNチームの調査に引き続き、2008年7月、新たに3例の黄熱の検査診断例が保健省に報告された。これらの症例では、IgM抗体価に加えて、セネガルのパスツール研究所でさらに特異的検査が行われ、黄熱ウイルスの分離・同定と他の出血熱ウイルスの除外診断がなされた。

8月8日現在、5例の診断確定例を含む、計9例の黄熱症例が保健省へ報告されている。

これらの状況を踏まえ、保健省は、2008年8月に、約194万人を対象にした黄熱ワクチン集団接種キャンペーンを実施することを決めた。このキャンペーンは、WHOの技術的支援と、“ワクチンと予防接種のための世界同盟(the GAVI alliance: the Global Alliance for Vaccines and Immunization)”の支援の元を実施される。2001年の、アビジャンにおける同キャンペーンでは260万人分が接種された。



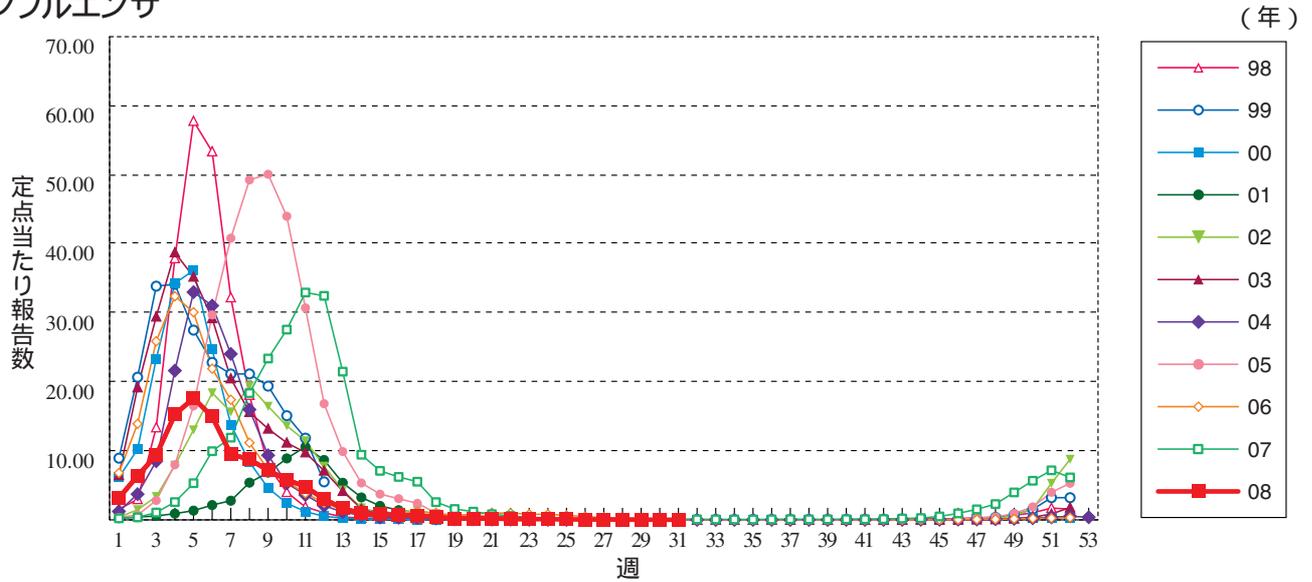
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

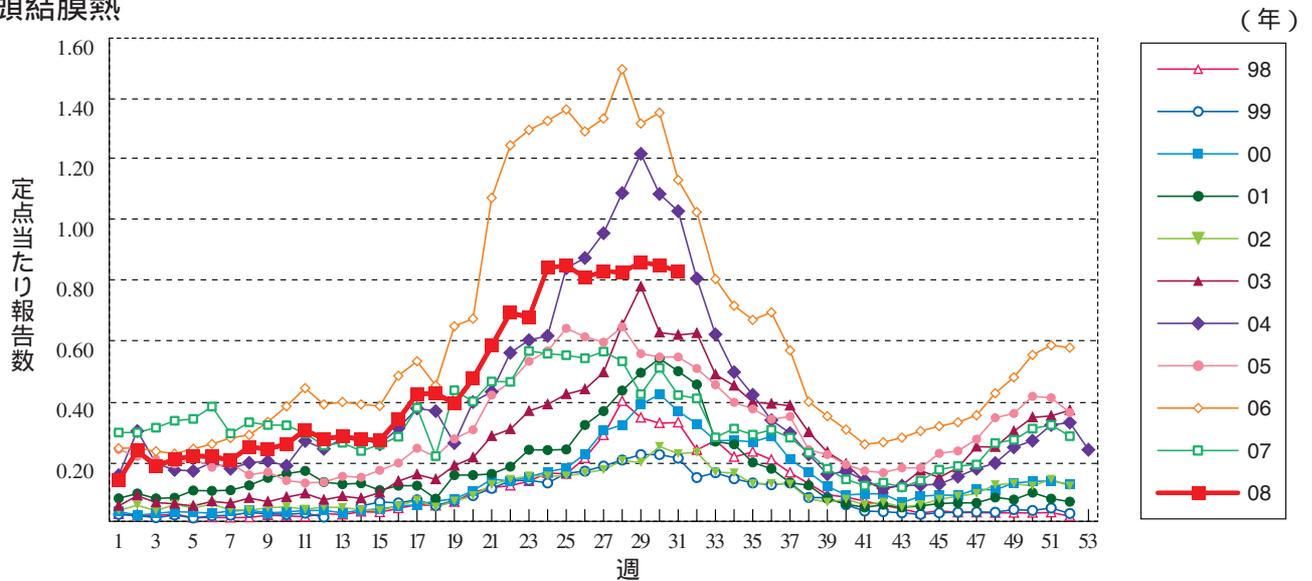


グラフ総覧(31週)

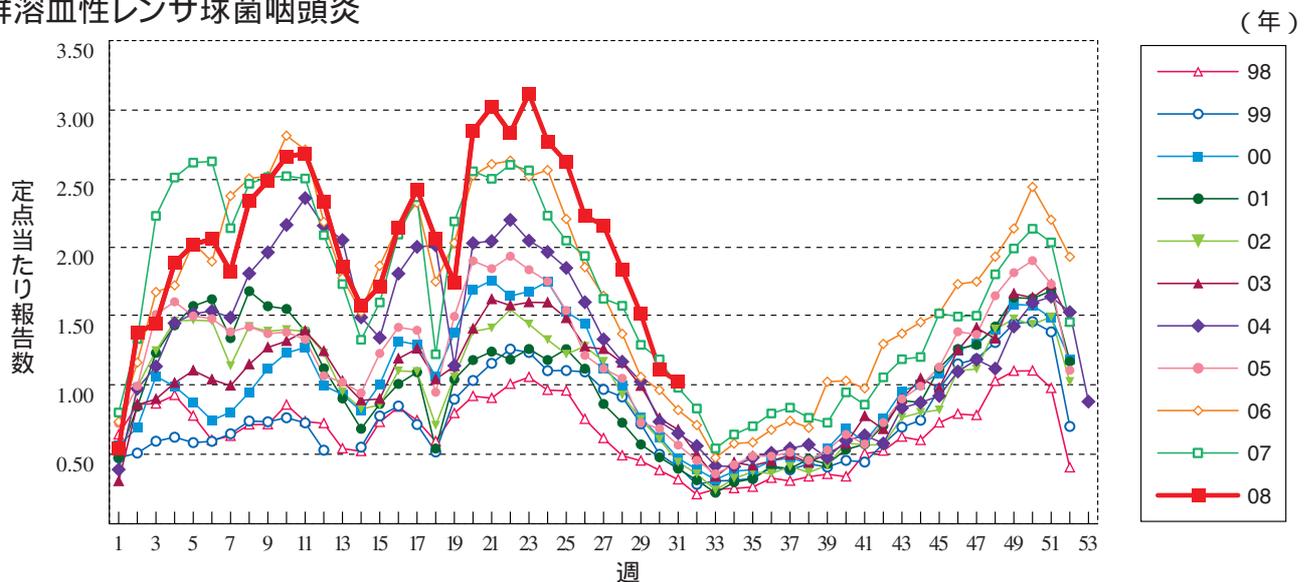
インフルエンザ



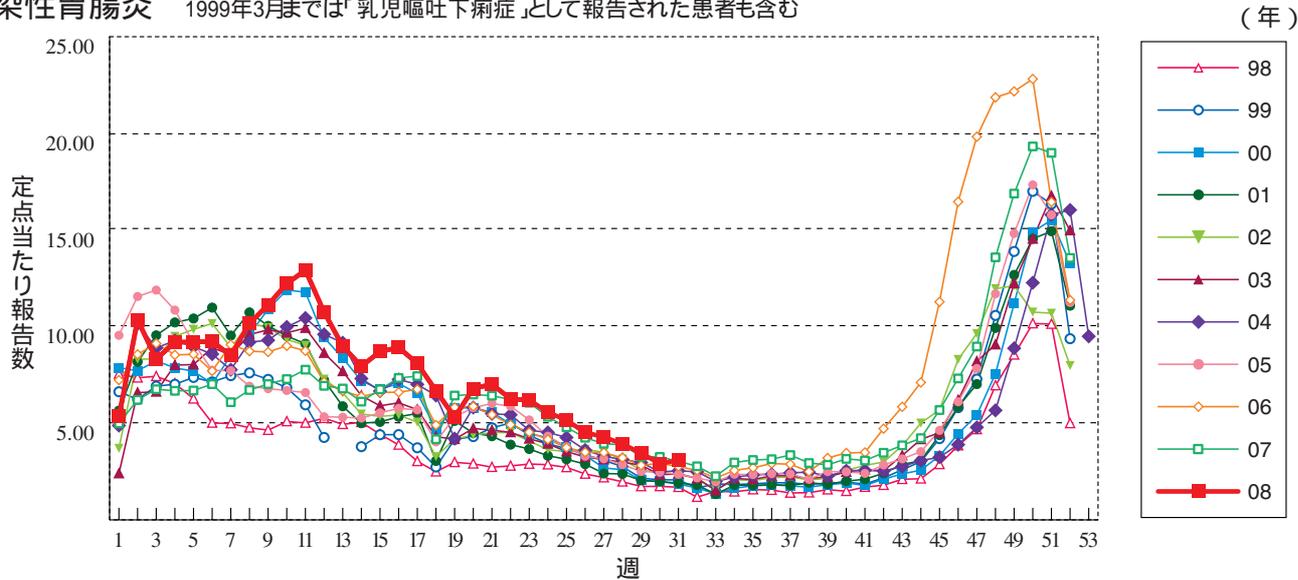
咽頭結膜熱



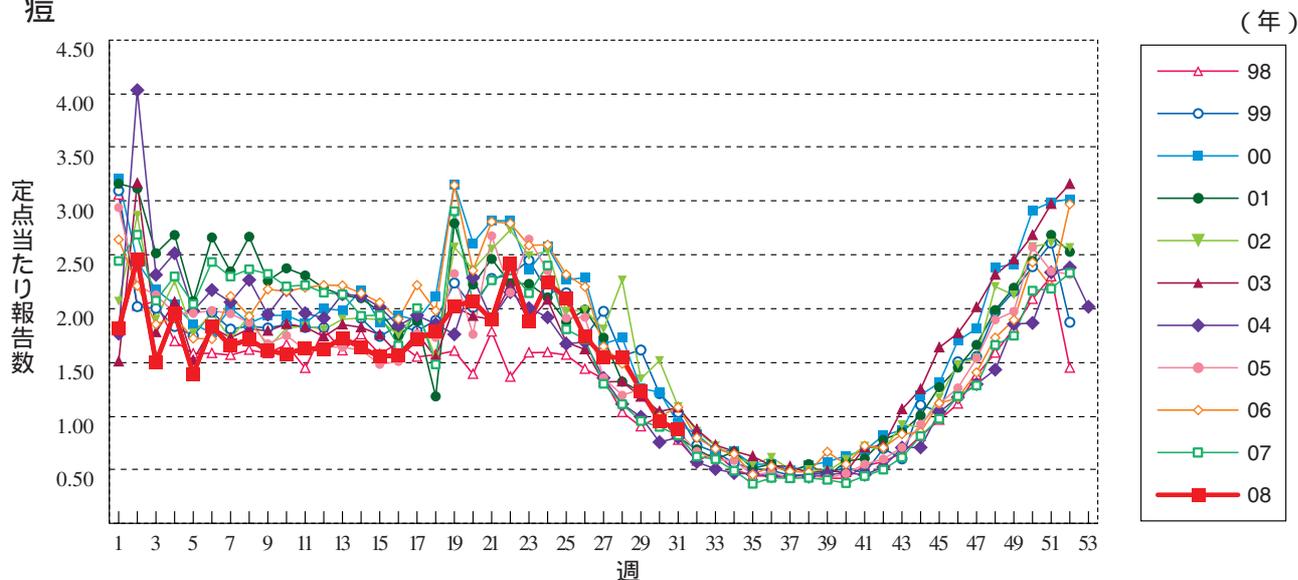
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



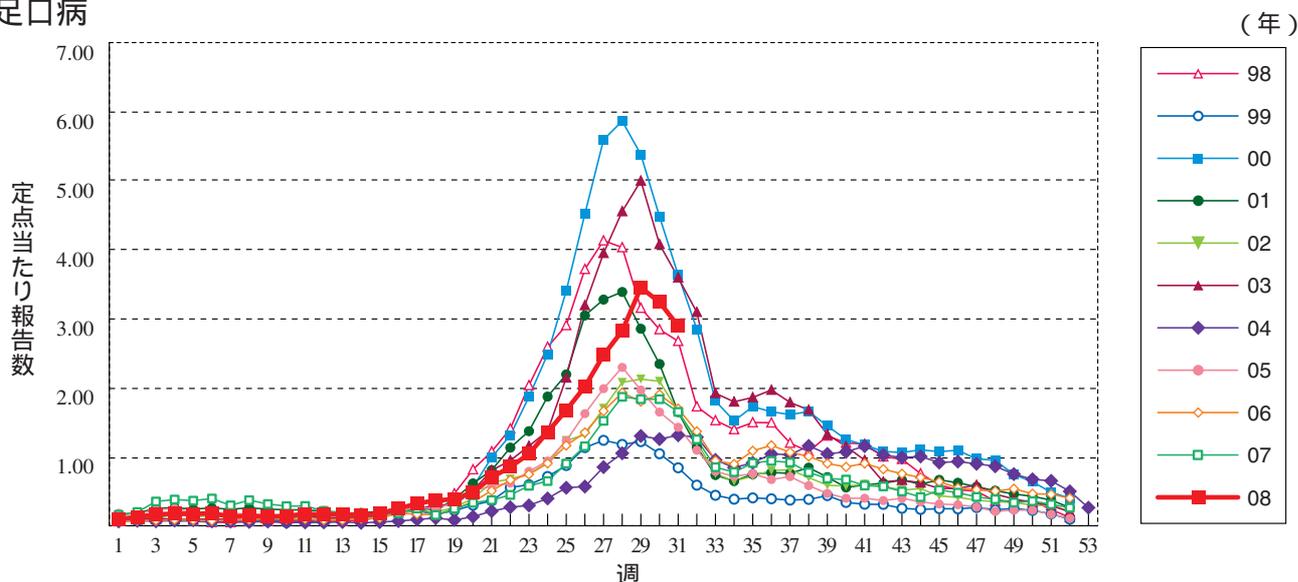
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



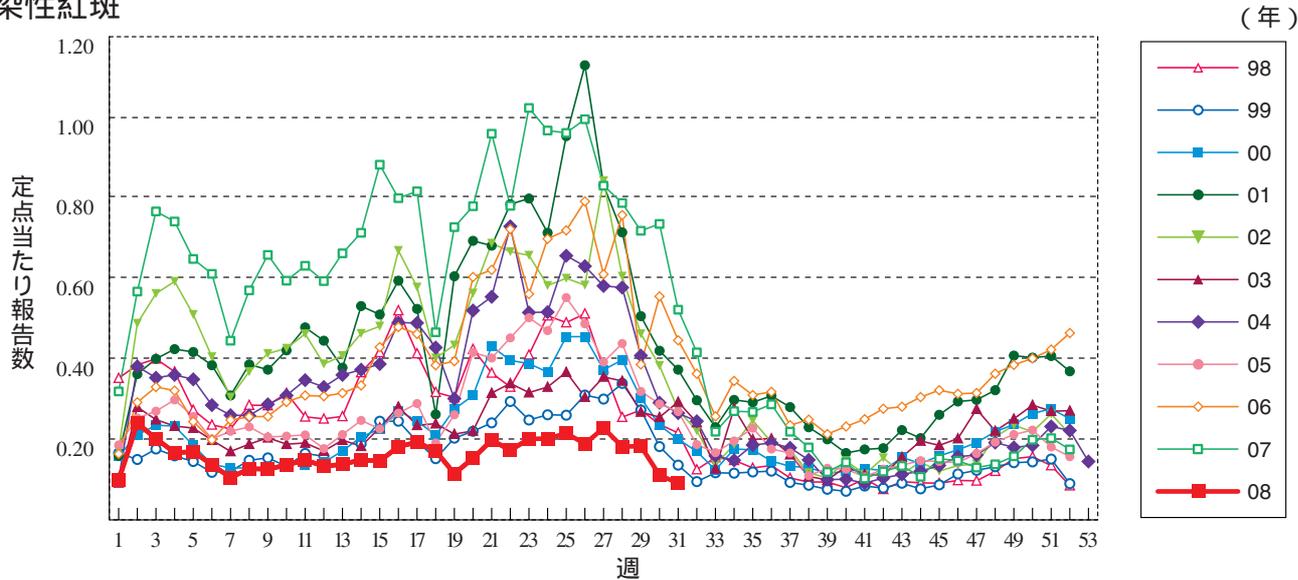
水痘



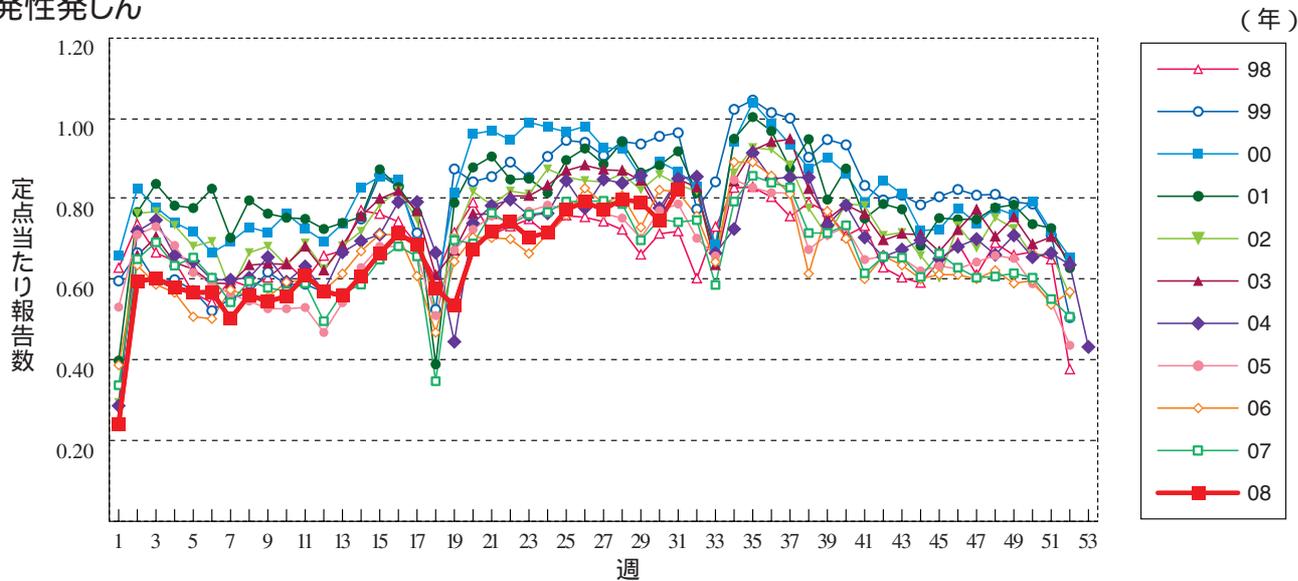
手足口病



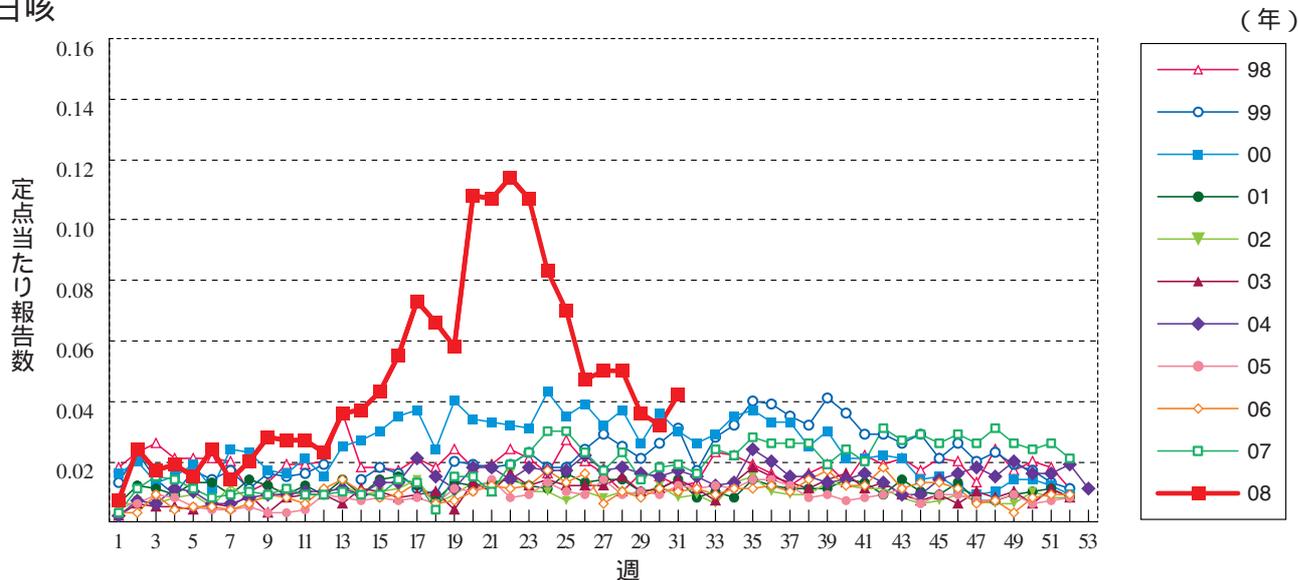
伝染性紅斑



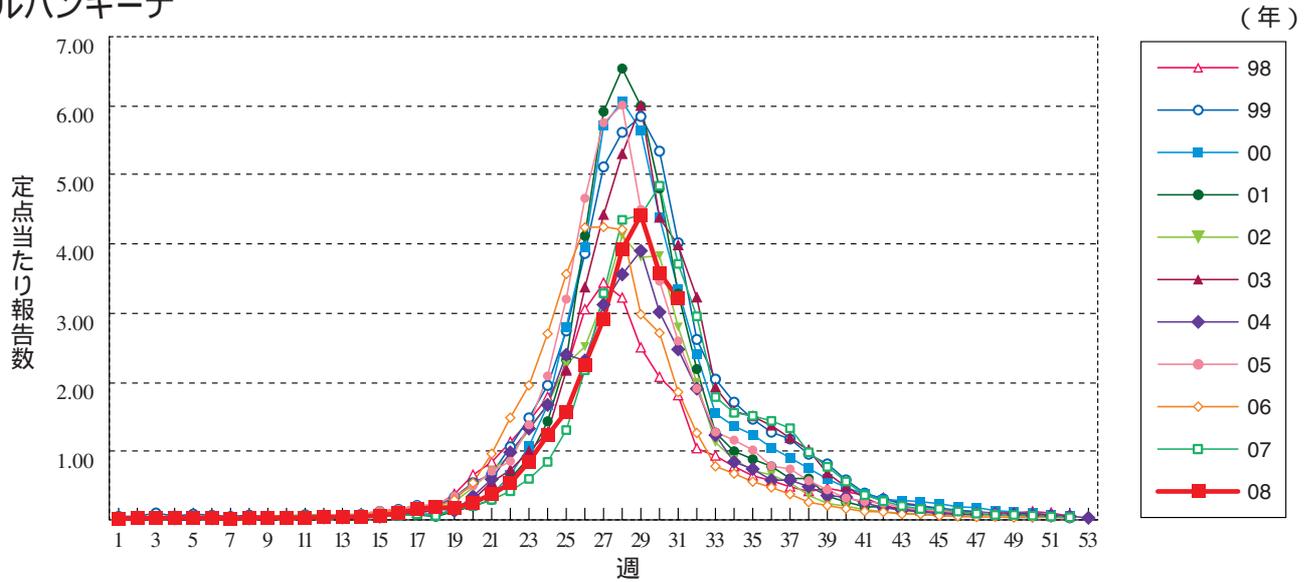
突発性発しん



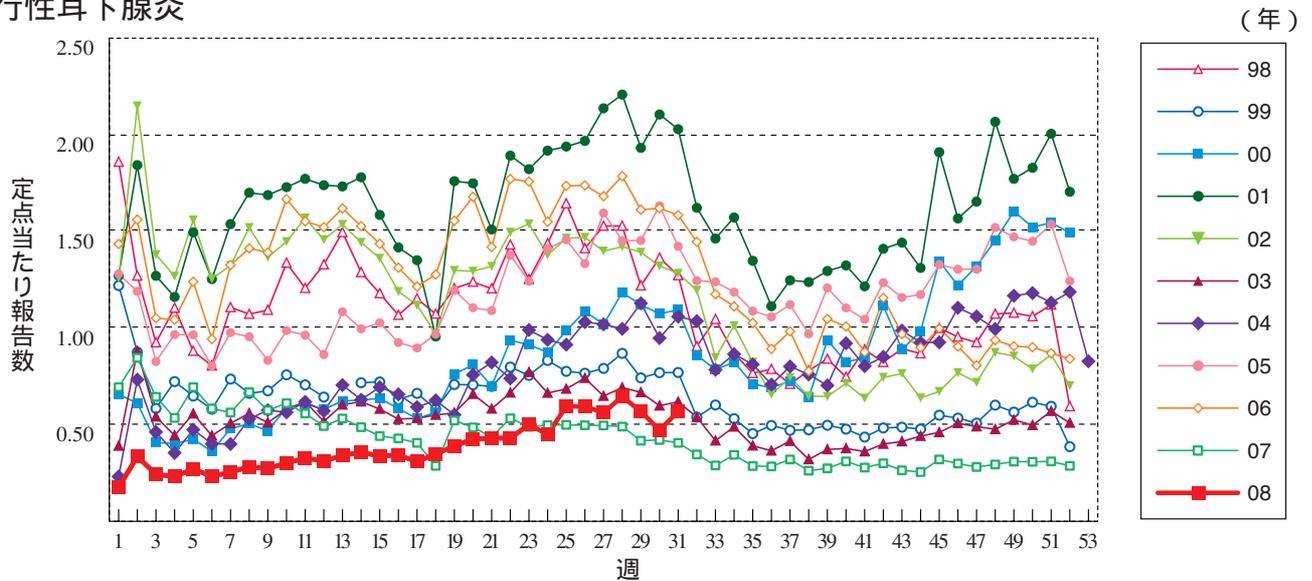
百日咳



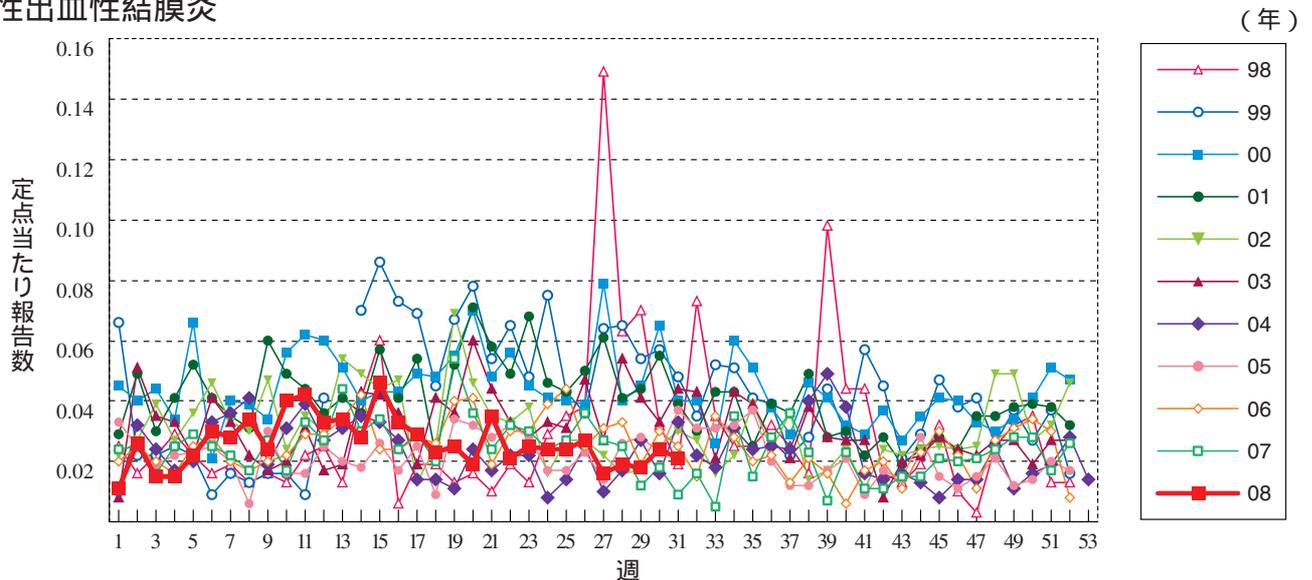
ヘルパンギーナ



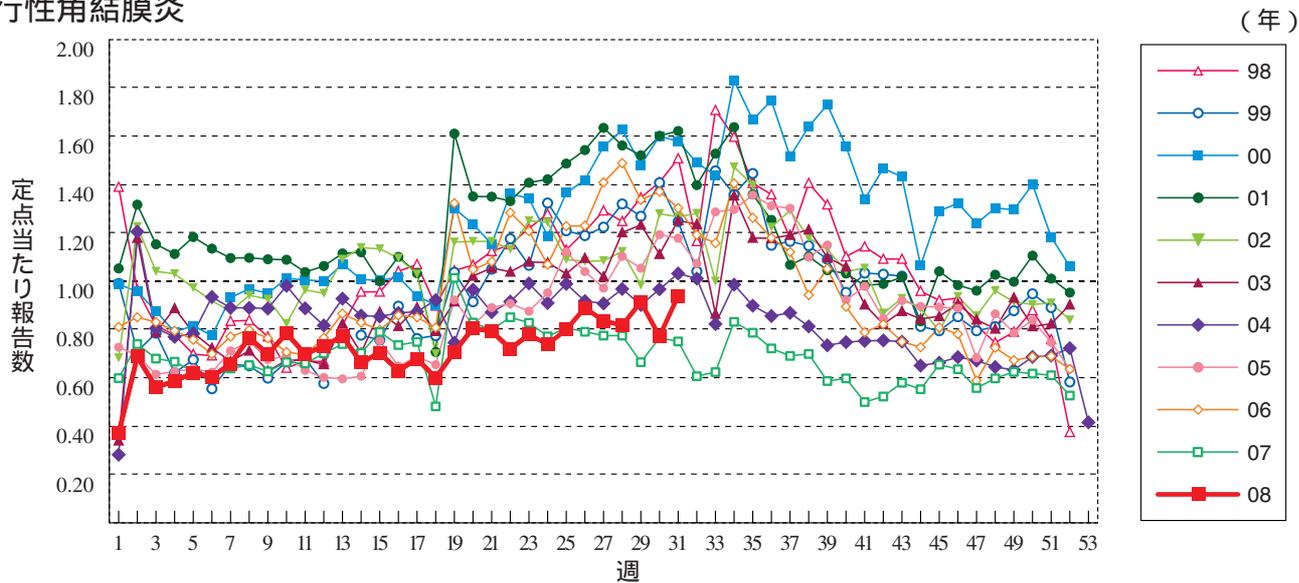
流行性耳下腺炎



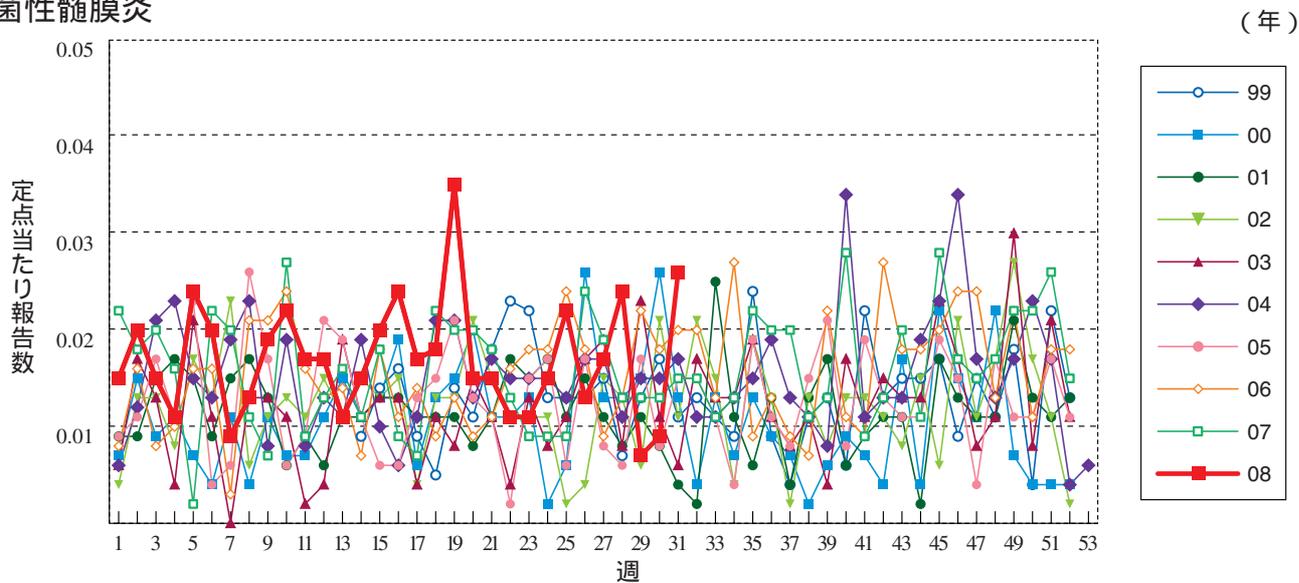
急性出血性結膜炎



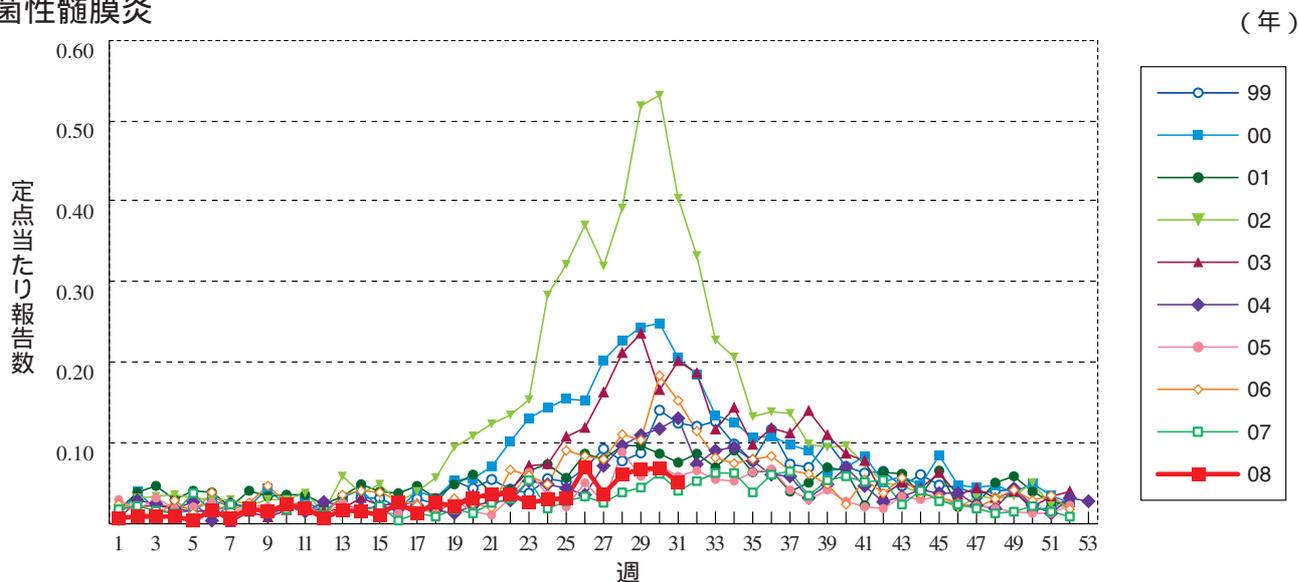
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

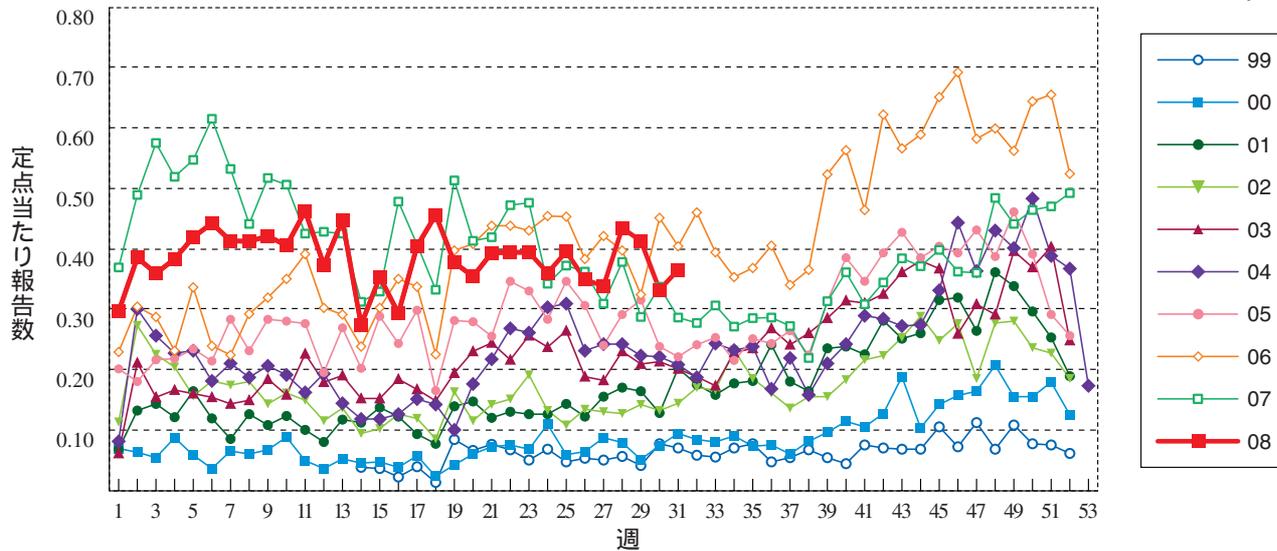


無菌性髄膜炎



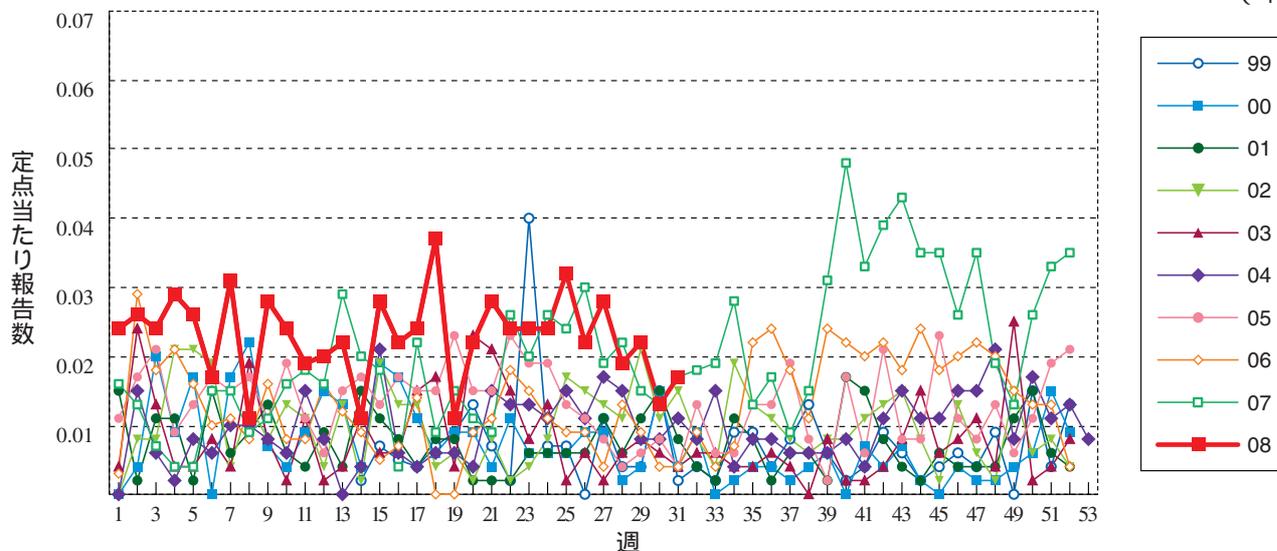
マイコプラズマ肺炎

(年)



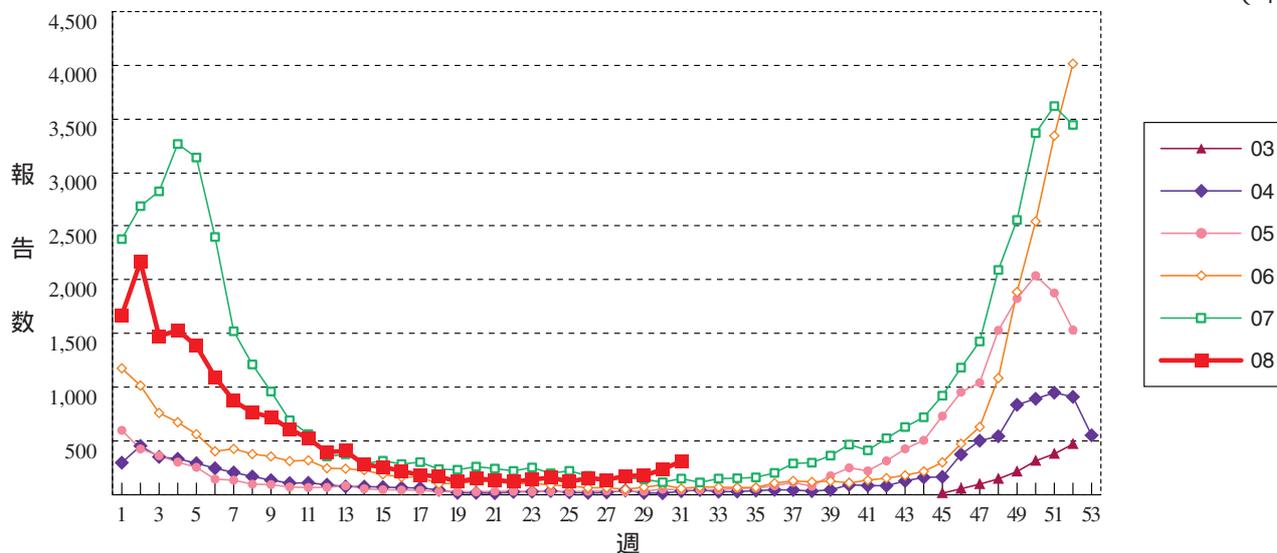
クラミジア肺炎(オウム病を除く)

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





31週のデータ

注) 表中の報告数は8月6日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年31週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	331	15260
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	375
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	300
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	112
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	231
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	94
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	130
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	172
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	299
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	191
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	106
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	743
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	846
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	2428
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	758
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	215
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	122
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	105
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	169
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	263
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	357
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1135
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	229
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	168
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	360
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	939
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	560
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	220
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	182
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	183
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	361
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	169
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	129
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	157
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	97
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	710
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	102
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	248
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	188
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	175
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	229
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	26		5	171	229	1784	-	30	-	20	-	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	19	-	2	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	34	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	7	30	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	42	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	41	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	12	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	39	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	11		1	7	5	31	-	5	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1		-	11	7	62	-	-	-	3	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	3		-	37	9	117	-	6	-	4	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2		-	15	2	85	-	4	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	-	20	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-		-	6	3	57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	6	48	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	6	38	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-		1	1	-	5	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	4		-	1	5	31	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	8	62	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1		-	2	8	48	-	2	-	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-		-	9	11	79	-	1	-	1	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	7	22	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	4	22	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-		-	2	8	84	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-		1	15	8	99	-	1	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-		-	6	17	76	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	1	12	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	4	12	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	7	38	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-		-	2	12	47	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	3	13	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	2	12	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	1	24	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	4		1	20	10	96	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-		-	2	-	85	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-		-	7	4	49	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-		-	-	7	37	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	-	17	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-		1	1	18	48	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-		-	1	-	13	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	110	-	8	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119	-	37
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	14
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年31週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	13	494	-	3	-	-	13	503	3	134	1	113	1	4	2	95
北海道	-	-	-	13	-	-	-	-	1	12	-	2	-	8	-	-	-	1
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	2	20	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	1	1	-	1
茨城県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	1	-	6	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	5	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	30	-	-	-	-	-	16	-	3	-	4	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	19	-	2	-	4	-	-	-	3
東京都	-	-	4	45	-	-	-	-	3	107	-	22	-	5	-	2	-	11
神奈川県	-	-	3	26	-	1	-	-	-	46	-	5	-	6	-	-	1	12
新潟県	-	-	-	19	-	-	-	-	1	5	-	-	-	3	-	-	-	1
富山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2	-	-	-	5
愛知県	-	-	1	33	-	-	-	-	1	34	-	8	-	7	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	3	1	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	17	-	-	-	-	-	16	1	3	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	-	1	42	-	-	-	-	2	64	-	18	-	20	-	1	-	8
兵庫県	-	-	-	26	-	-	-	-	1	23	-	12	-	5	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	12	-	-	-	-	1	4	-	5	-	5	-	-	-	4
広島県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	6	1	8	-	2	-	-	-	1
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	20	1	10	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	4	-	-	-	5	-	-	-	2
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	72	15	875	2	47	-	10	-	-	10	481	4	65	-	-	-	49
北海道	-	1	-	14	-	1	-	1	-	-	-	8	-	5	-	-	-	4
青森県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	21	-	1	-	1	-	-	-	19	-	3	-	-	-	5
千葉県	-	2	-	32	1	6	-	1	-	-	-	15	1	3	-	-	-	-
東京都	-	13	5	319	-	16	-	2	-	-	3	113	-	3	-	-	-	10
神奈川県	-	4	1	49	-	7	-	-	-	-	2	20	-	3	-	-	-	6
新潟県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	15	-	-	-	-	-	-	-	27	-	2	-	-	-	4
愛知県	-	4	2	66	-	1	-	-	-	-	1	38	-	6	-	-	-	4
三重県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	16	1	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	6	4	114	-	5	-	1	-	-	1	37	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	7	1	22	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	11	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	-	12	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	2	1	24	-	1	-	-	-	-	-	50	1	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	3	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年31週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総数	4	253	50	10521
北海道	-	10	-	1432
青森県	-	1	1	62
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	-	20
秋田県	-	1	-	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	-	5	2	88
栃木県	-	4	-	35
群馬県	-	1	1	82
埼玉県	-	7	2	369
千葉県	1	9	7	1002
東京都	-	31	4	1118
神奈川県	-	29	10	3450
新潟県	-	-	-	34
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	3	15
長野県	-	13	-	56
岐阜県	-	1	-	18
静岡県	-	16	3	234
愛知県	-	3	-	189
三重県	-	5	-	41
滋賀県	-	1	-	36
京都府	-	1	-	190
大阪府	-	18	1	356
兵庫県	-	13	5	130
奈良県	-	2	1	12
和歌山県	-	2	-	36
鳥取県	-	-	-	6
島根県	3	4	-	4
岡山県	-	13	1	129
広島県	-	12	1	147
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	6	24
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	2	662
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	8
鹿児島県	-	2	-	22
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	62	0.01	2500	0.83	3108	1.03	9304	3.08	2642	0.87	8743	2.89	276	0.09	2493	0.83	128	0.04
北海道	-	-	97	0.68	205	1.44	153	1.08	152	1.07	330	2.32	18	0.13	98	0.69	-	-
青森県	-	-	25	0.60	23	0.55	49	1.17	68	1.62	44	1.05	1	0.02	30	0.71	3	0.07
岩手県	-	-	8	0.20	30	0.75	62	1.55	29	0.73	50	1.25	6	0.15	18	0.45	-	-
宮城県	-	-	15	0.25	56	0.93	210	3.50	53	0.88	130	2.17	19	0.32	48	0.80	3	0.05
秋田県	-	-	19	0.54	25	0.71	86	2.46	30	0.86	44	1.26	1	0.03	19	0.54	3	0.09
山形県	-	-	16	0.53	42	1.40	109	3.63	61	2.03	44	1.47	8	0.27	38	1.27	-	-
福島県	1	0.01	40	0.83	54	1.13	89	1.85	53	1.10	55	1.15	8	0.17	49	1.02	3	0.06
茨城県	-	-	57	0.76	96	1.28	123	1.64	50	0.67	62	0.83	9	0.12	38	0.51	4	0.05
栃木県	-	-	11	0.23	38	0.81	77	1.64	24	0.51	29	0.62	3	0.06	46	0.98	1	0.02
群馬県	-	-	66	1.06	49	0.79	201	3.24	63	1.02	232	3.74	1	0.02	51	0.82	-	-
埼玉県	-	-	164	1.06	306	1.97	548	3.54	171	1.10	212	1.37	45	0.29	140	0.90	9	0.06
千葉県	-	-	74	0.57	167	1.28	363	2.79	177	1.36	221	1.70	18	0.14	105	0.81	17	0.13
東京都	4	0.01	132	0.89	150	1.01	494	3.34	100	0.68	249	1.68	13	0.09	114	0.77	4	0.03
神奈川県	-	-	178	0.89	219	1.10	588	2.95	173	0.87	1033	5.19	32	0.16	191	0.96	11	0.06
新潟県	-	-	110	1.83	55	0.92	106	1.77	55	0.92	311	5.18	18	0.30	49	0.82	5	0.08
富山県	-	-	23	0.79	29	1.00	92	3.17	13	0.45	208	7.17	-	-	17	0.59	-	-
石川県	-	-	5	0.17	16	0.55	68	2.34	8	0.28	272	9.38	-	-	23	0.79	-	-
福井県	-	-	17	0.77	28	1.27	117	5.32	29	1.32	15	0.68	-	-	20	0.91	-	-
山梨県	-	-	10	0.42	13	0.54	49	2.04	12	0.50	10	0.42	7	0.29	13	0.54	7	0.29
長野県	-	-	28	0.51	66	1.20	157	2.85	71	1.29	390	7.09	5	0.09	26	0.47	5	0.09
岐阜県	-	-	41	0.77	20	0.38	129	2.43	27	0.51	71	1.34	3	0.06	35	0.66	1	0.02
静岡県	-	-	86	1.00	100	1.16	265	3.08	55	0.64	564	6.56	4	0.05	78	0.91	-	-
愛知県	-	-	64	0.36	202	1.12	546	3.03	164	0.91	473	2.63	4	0.02	151	0.84	4	0.02
三重県	1	0.01	27	0.60	26	0.58	206	4.58	27	0.60	369	8.20	-	-	46	1.02	1	0.02
滋賀県	-	-	21	0.64	16	0.48	83	2.52	9	0.27	53	1.61	2	0.06	20	0.61	1	0.03
京都府	-	-	53	0.72	30	0.41	175	2.36	52	0.70	173	2.34	1	0.01	28	0.38	-	-
大阪府	2	0.01	206	1.08	264	1.38	699	3.66	173	0.91	487	2.55	18	0.09	154	0.81	6	0.03
兵庫県	-	-	95	0.74	104	0.81	448	3.47	93	0.72	329	2.55	-	-	93	0.72	5	0.04
奈良県	-	-	23	0.66	14	0.40	83	2.37	16	0.46	90	2.57	-	-	31	0.89	1	0.03
和歌山県	-	-	16	0.52	16	0.52	97	3.13	26	0.84	11	0.35	-	-	34	1.10	1	0.03
鳥取県	-	-	12	0.63	33	1.74	75	3.95	2	0.11	38	2.00	1	0.05	14	0.74	1	0.05
島根県	-	-	6	0.26	20	0.87	98	4.26	17	0.74	20	0.87	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	-	-	23	0.43	26	0.48	204	3.78	29	0.54	165	3.06	3	0.06	25	0.46	1	0.02
広島県	8	0.07	92	1.28	45	0.63	252	3.50	74	1.03	144	2.00	4	0.06	64	0.89	6	0.08
山口県	-	-	36	0.72	86	1.72	199	3.98	35	0.70	222	4.44	1	0.02	62	1.24	5	0.10
徳島県	-	-	25	1.09	12	0.52	62	2.70	22	0.96	49	2.13	-	-	19	0.83	1	0.04
香川県	-	-	21	0.75	7	0.25	115	4.11	6	0.21	64	2.29	-	-	20	0.71	1	0.04
愛媛県	-	-	65	1.76	27	0.73	138	3.73	38	1.03	64	1.73	1	0.03	40	1.08	2	0.05
高知県	-	-	27	0.90	16	0.53	94	3.13	18	0.60	22	0.73	1	0.03	14	0.47	-	-
福岡県	-	-	139	1.16	146	1.22	576	4.80	117	0.98	385	3.21	6	0.05	147	1.23	6	0.05
佐賀県	-	-	44	1.91	9	0.39	36	1.57	31	1.35	51	2.22	-	-	28	1.22	-	-
長崎県	1	0.01	13	0.30	17	0.39	103	2.34	44	1.00	130	2.95	-	-	40	0.91	-	-
熊本県	-	-	43	0.90	35	0.73	207	4.31	40	0.83	174	3.63	3	0.06	51	1.06	3	0.06
大分県	-	-	54	1.50	64	1.78	247	6.86	29	0.81	205	5.69	5	0.14	58	1.61	1	0.03
宮崎県	-	-	45	1.25	48	1.33	178	4.94	41	1.14	190	5.28	1	0.03	47	1.31	1	0.03
鹿児島県	-	-	120	2.18	40	0.73	208	3.78	40	0.73	232	4.22	1	0.02	35	0.64	1	0.02
沖縄県	45	0.78	8	0.24	18	0.53	40	1.18	25	0.74	27	0.79	4	0.12	14	0.41	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	9700	3.21	1716	0.57	14	0.02	631	0.94	12	0.03	24	0.05	169	0.37	8	0.02	313
北海道	297	2.09	14	0.10	-	-	23	0.79	-	-	-	-	3	0.13	-	-	25
青森県	226	5.38	7	0.17	-	-	5	0.45	-	-	-	-	10	1.67	-	-	2
岩手県	233	5.83	16	0.40	-	-	28	2.00	-	-	-	-	2	0.10	1	0.05	-
宮城県	391	6.52	16	0.27	1	0.08	4	0.33	2	0.17	-	-	15	1.25	-	-	1
秋田県	186	5.31	39	1.11	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	188	6.27	19	0.63	-	-	5	0.63	-	-	-	-	5	0.50	-	-	-
福島県	294	6.13	14	0.29	-	-	9	0.75	1	0.14	1	0.14	11	1.57	3	0.43	18
茨城県	235	3.13	6	0.08	1	0.06	43	2.53	1	0.08	-	-	6	0.46	-	-	-
栃木県	180	3.83	23	0.49	-	-	15	1.25	-	-	-	-	6	0.86	-	-	-
群馬県	188	3.03	87	1.40	-	-	35	2.50	-	-	-	-	3	0.38	-	-	-
埼玉県	760	4.90	92	0.59	-	-	29	0.69	-	-	-	-	4	0.44	1	0.11	6
千葉県	491	3.78	73	0.56	2	0.06	17	0.53	-	-	-	-	1	0.11	-	-	1
東京都	709	4.79	100	0.68	-	-	27	0.73	-	-	1	0.04	3	0.13	-	-	14
神奈川県	838	4.21	66	0.33	1	0.03	48	1.20	1	0.13	-	-	4	0.50	-	-	2
新潟県	124	2.07	20	0.33	-	-	13	1.30	-	-	1	0.08	1	0.08	3	0.25	2
富山県	68	2.34	9	0.31	-	-	2	0.29	1	0.20	-	-	2	0.40	-	-	-
石川県	27	0.93	3	0.10	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20	-	-	7
福井県	40	1.82	22	1.00	-	-	-	-	2	0.33	-	-	4	0.67	-	-	1
山梨県	42	1.75	9	0.38	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	511	9.29	13	0.24	-	-	4	0.36	1	0.09	-	-	1	0.09	-	-	1
岐阜県	83	1.57	74	1.40	-	-	9	0.90	-	-	3	0.60	2	0.40	-	-	1
静岡県	251	2.92	50	0.58	-	-	11	0.55	1	0.11	-	-	2	0.22	-	-	1
愛知県	577	3.21	159	0.88	-	-	11	0.33	-	-	1	0.07	9	0.60	-	-	6
三重県	181	4.02	28	0.62	-	-	4	0.33	-	-	-	-	4	0.44	-	-	2
滋賀県	102	3.09	19	0.58	-	-	2	0.25	-	-	-	-	3	0.43	-	-	-
京都府	95	1.28	17	0.23	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	613	3.21	135	0.71	2	0.04	24	0.49	-	-	1	0.08	7	0.54	-	-	22
兵庫県	414	3.21	44	0.34	-	-	33	0.94	-	-	3	0.27	-	-	-	-	3
奈良県	79	2.26	31	0.89	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.33	-	-	-
和歌山県	82	2.65	6	0.19	-	-	10	2.50	-	-	3	0.27	5	0.45	-	-	3
鳥取県	32	1.68	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	48	2.09	2	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.13	8	1.00	-	-	2
岡山県	80	1.48	16	0.30	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	143	1.99	12	0.17	3	0.16	23	1.21	-	-	-	-	4	0.19	-	-	3
山口県	72	1.44	12	0.24	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.33	-	-	2
徳島県	85	3.70	3	0.13	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	52	1.86	2	0.07	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	160	4.32	38	1.03	-	-	28	3.50	-	-	-	-	3	0.50	-	-	1
高知県	35	1.17	57	1.90	-	-	4	1.33	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-
福岡県	178	1.48	142	1.18	2	0.08	27	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	124
佐賀県	24	1.04	72	3.13	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	18	0.41	15	0.34	2	0.25	15	1.88	-	-	-	-	3	0.25	-	-	-
熊本県	87	1.81	18	0.38	-	-	33	3.67	-	-	2	0.13	1	0.07	-	-	1
大分県	59	1.64	11	0.31	-	-	6	1.20	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1
宮崎県	88	2.44	91	2.53	-	-	15	2.50	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1
鹿児島県	25	0.45	6	0.11	-	-	11	1.57	-	-	4	0.33	3	0.25	-	-	2
沖縄県	9	0.26	7	0.21	-	-	10	1.00	1	0.14	1	0.14	26	3.71	-	-	54

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年31週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	22	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年31週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第31号 2008年8月15日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。